

# **MDC-50Tb マルチデバイスコントローラ**

## **VDCP プロトコル 対応ソフトウェア**

### **取り扱い説明書**

(ソフトバージョン S0140-14)

**武蔵株式会社**

**2014年10月**

## 改定履歴

No	発行日	バージョン	内容
1	2011年8月	S0140-01	XDCAM Station 対応 VDCP プロトコル対応
2	2012年10月	S0140-11	SR-R1000 対応 ファイル削除方法の誤記訂正
3	2013年5月	S0140-12	AirSpeed 対応
4	2013年9月	S0140-13	Odetics 機能を削除 MVX 対応
5	2014年10月	S0140-14	1時間で収録が止まってしまう問題の修正 収録時間指定を1時間から機器依存へ変更 追いかけて再生のディレイを7秒→10秒に変更
6			
7			

## 機器構成

MDC-50Tb	本体
MDC-XS5T	VDCP対応ソフト
MDC-SP5T	RS422 ポート追加ソフト(オプション)

## 対応プロトコル

<VDCP ソフトウェア>

- ・SONY VTR プロトコル
- ・VDCP プロトコル

※ 標準 DISK ソフトと、VDCP ソフトの入れ替えは、センドバック方式の有償対応となります。

詳細は、弊社営業へお問い合わせ下さい。

## 目次

1.概要.....	4
2.特徴.....	4
3.パネル各部の機能.....	5
4. 背面パネル各部の名称.....	14
5. 機能と操作方法.....	15
5.1 GOTO 機能.....	16
5.2 CUE 機能(MODE1).....	17
5.2.1 CUE の登録と修正(MODE1).....	17
5.2.2 CUE の呼び出し(MODE1).....	18
5.3 CUE 機能(MODE2).....	19
5.3.1 CUE の登録と修正(MODE2).....	19
5.3.2 CUE の呼び出し(MODE2).....	20
5.4 ファイル管理機能.....	21
5.4.1 ファイル情報の呼び出し.....	21
5.4.2 録画時のファイル名称について.....	22
5.4.3 ファイル名の確認.....	22
5.4.4 ファイルの削除.....	23
5.5 カップリング機能.....	24
5.5.1 カップリング機能の設定と動作.....	24
5.6 パラ制御機能.....	26
5.6.1 パラ制御機能の設定と動作.....	26
5.7 連続再生機能.....	27
5.7.1 連続再生機能の動作.....	27
5.8 キーアサインの変更.....	28
6. GPI機能と操作方法.....	29
6.1 ピンアサイン詳細.....	29
6.2 GPI のメニュー設定.....	30
7. メニュー設定及び操作方法.....	32
7.1 メニューの操作方法.....	32
7.2 メニューの保存と読み出し方法.....	33
7.2.1 メニューの保存.....	33
7.2.2 メニューの読出し.....	33
7.3 メニュー一覧とエラー表示.....	34
8. 仕様.....	48

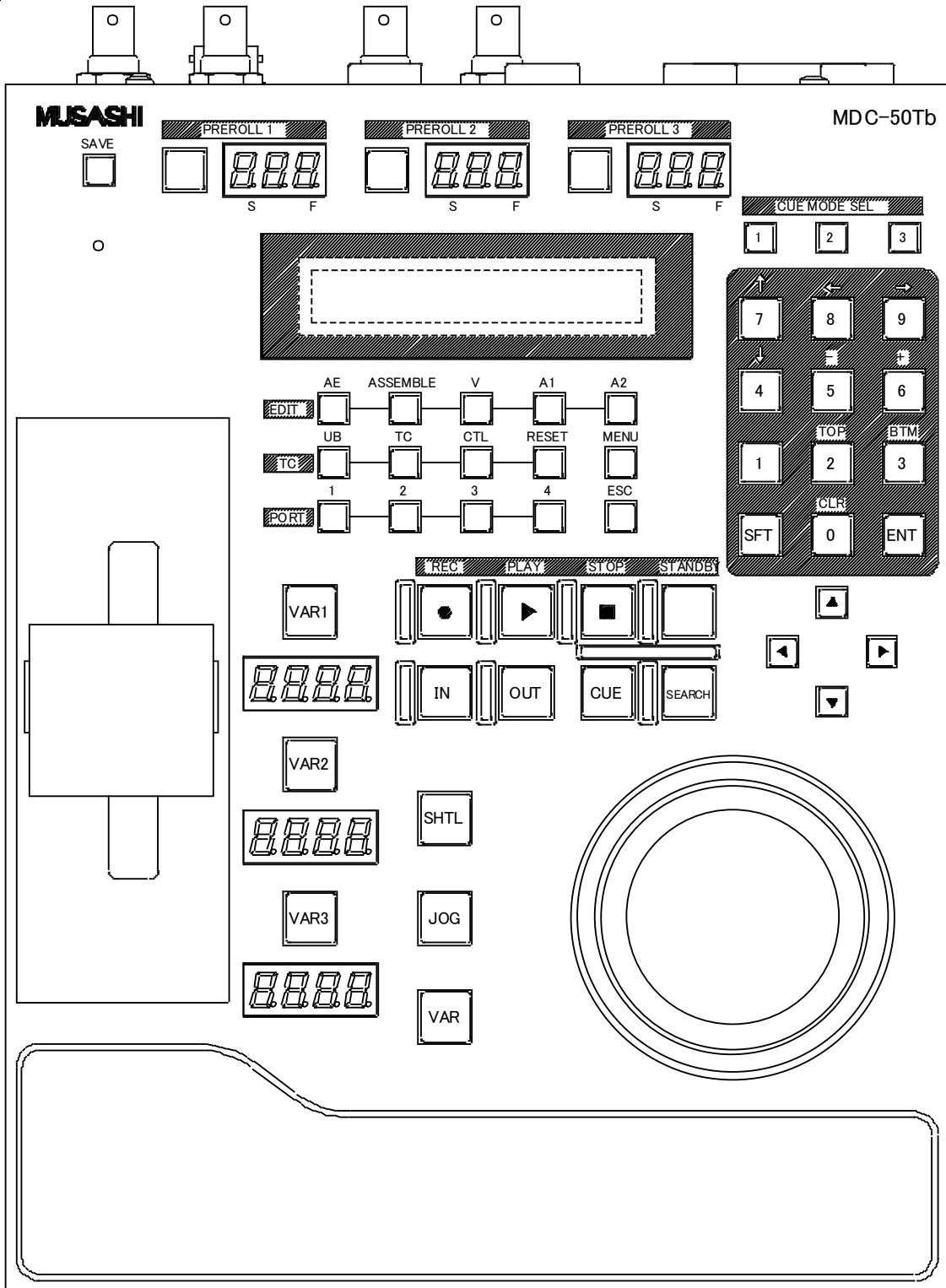
## 1.概要

MDC-50Tb は、VTR 及びディスクレコーダーのリモートコントロールを行なう装置です。  
PLAY/ STOP/REC/STANDBY/JOG/SHUTTLE 等の制御を RS-422 により行ないます。  
制御ポートは VTR ソフト標準で 1 ポート、ディスクソフト標準で 2 ポート、増設により最大 4 ポート  
まで拡張でき、切替えにより 4 台の VTR を制御できます。  
JOG/SHUTTLE ダイヤルを備え編集点の確認等が容易に行なえます。  
タイムコードを利用した CUE 登録が可能で迅速な番組の頭出しが可能です。  
また、T-BAR を使ってスローコントロールが可能です。

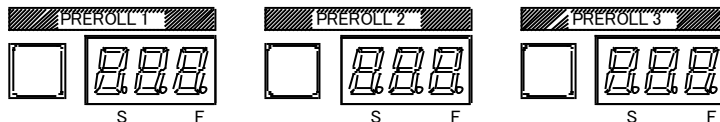
## 2.特徴

- 簡単な CUE の登録と CUE UP 操作が可能です。
- 増設により最大 4 ポートまで拡張可能です。
- 多彩な CUE 登録が可能です。
- テンキーによるダイレクトに打ち込み GOTO が可能です。
- 最大 4 ポートまで同時 REC/ PLAY/ CUE UP が可能です。(※調相はしていません。)
- JOG/SHUTTLE ダイヤルを備え CUE 点の確認等が容易です。
- T-BAR によりスローコントロールが簡単に操作可能です。
- 3 個の PREROLL タイムを登録可能です。
- 3 個の Var スピードを設定可能です。
- GPI を備え外部から PLAY/STOP/REC させることが可能です。
- VTR9ピンプロトコル制御と VDCP プロトコル制御の混在が可能です。
- 2 系統の制御信号での収録制御と再生制御を感覚的に行う事が可能です。
- ファイル制御が可能です。
- 登録した CUE 点を使用し、簡易プレイリストの作成が可能です。
- 最大 90 個までの連続再生が可能です。

### 3. パネル各部の機能



## ① PREROLL タイム表示部



3桁の7セグ緑色LEDを配置し、設定したPREROLLタイムを表示します。

プリロール時間はメニューで設定することが可能です。

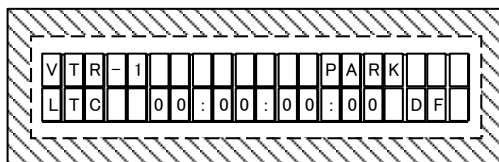
スイッチを押下することによりCUE UPしたときのプリロール時間が変わります。

メニュー設定した数値はボタン右横の表示器に表示されます。

スイッチ選択をしていない時(消灯)は、PREROLL 0秒でCUE UPします。

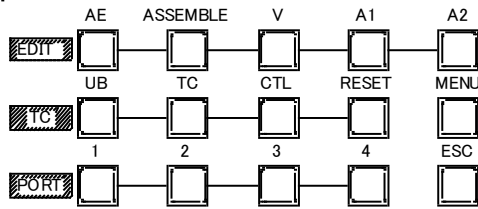
関連メニュー		
CONSOLE	Preroll-1	<b>“00:00～09:29”(Def=00:00)</b> Preroll-1のプリロールタイム設定 (CUE UPしたときのプリロールタイムの設定です)
CONSOLE	Preroll-2	<b>“00:00～09:29”(Def=03:00)</b> Preroll-2のプリロールタイム設定 (CUE UPしたときのプリロールタイムの設定です)
CONSOLE	Preroll-3	<b>“00:00～09:29”(Def=05:00)</b> Preroll-3のプリロールタイム設定 (CUE UPしたときのプリロールタイムの設定です)

## ② 液晶表示部



20桁2行のバックライト付き液晶表示器を使用し、メニュー、ステータス、タイムコード、ファイル名等の表示を行ないます。

### ③ 制御ポート切替えスイッチ/タイムコード切替えスイッチ



#### PORT

オプションの RS-422 ポートライセンスを増設した場合、  
4 つある RS-422 ポートの 1 から 4 を切替えて制御することができます。

#### TC

液晶部の表示内容を変更します。UB 表示、TC 表示、CTL 表示の各スイッチと CTL 表示時の RESET スイッチがあります。

RESET 押下時はメニューで設定した値が CTL にプリセットされます。

TC+RESET 押下時はメニューで設定した値が LTC Gen にプリセットされます。

関連メニュー		
CONSOLE	CtlPresetTc	<b>00:00:00:00~23:59:59:29(Def=00:00:00:00)</b> ・CTL Reset 時の Preset 時間を設定します。 ・"CtlResetMod" の設定に依存します。
CONSOLE	LtcgPreset	<b>00:00:00:00~23:59:59:29 (Def=00:00:00:00)</b> ・LTC RESET 時の Preset 時間を設定します。 ・本値の送信が機器に反映されるかは機器側の LTC ジェネレータモードに依存します

#### EDIT

AE スイッチ、点灯中は連続再生モードになります。

標準ソフトでは、複数の VTR を使用して編集をお行う機能になります。

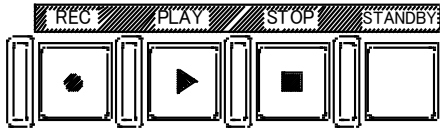
本ソフトでは対応していません。(標準ソフトでのみ使用可能です。)

#### MENU/ESC

MENU スイッチ・・・メニューモードになります。

ESC スイッチ・・・各モードを解除します。

#### ④ REC、STOP、PLAY、STANDBY 各スイッチ部



##### REC

REC スイッチ……REC スイッチ+PLAY スイッチで REC 制御を開始します。

※ VDCP プロトコル選択時は、コントローラよりファイル名称を発行します。

ファイル名称の詳細は、5. 4項を参照して下さい。

※ REC スイッチを押下すると FULL EE ON コマンドが送出されます。

対象機器に機能がある場合は EE 画面に切り替わります。

##### PLAY

PLAY スイッチ…PLAY 制御を開始します。

SFT+PLAY スイッチ…カップリング機能時、収録点前で追いかけて再生を開始します。

メニューの設定により、PLAY コマンド送信時に PB 状態に切り替える事ができます。

関連メニュー		
RS-422 PORT	PbEeMod	<b>Disable</b> 何もしない <b>PlayPB</b> PLAY 系コマンド送信の際 FullEE-OFF コマンドを送信します <b>PlayPB2</b> 同上、ただし STOP コマンドの際は 送信しない
RS-422 PORT	PbEeDly	<b>“0~150”(Def=0)</b> PLAY 系コマンド送信後の、FullEE-OFF コマンド送信を何フレーム遅らすかの設定です。

##### STOP

STOP スイッチ…STOP 制御をします。

PORT スイッチ+STOP スイッチ……EJECT 制御をします。

SFT+STOP スイッチ…収録を停止します。

##### STANDBY

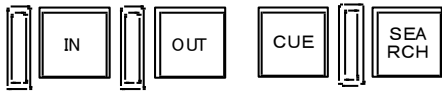
STANDBY スイッチ…スタンバイ制御を開始します。(以下 ST-BY)

ST-BY スイッチで ST-BY ON になり、SFT スイッチ+ST-BY スイッチで ST-BYOFF になります。※対象機器に機能がある場合は動作します。

関連メニュー		
CONSOLE	StbySwMod	<b>ON</b> OFF するときには SHIFT+ST-BY スイッチで ST-BY OFF になります <b>ON/OFF</b> ST-BY スイッチでトグル動作になります



## ⑤ IN、OUT、CUE、SEARCH 各スイッチ部



### IN/OUT

CUE MODE1 の時にクリップの作成を行います。

クリップとは、IN 点と OUT 点を指定したタイムコード情報です。

※IN 点/OUT 点は上書き登録が可能で、CUE スイッチを押す事により、CUE リストへ登録されます。

### CUE

CUE MODE1,2 の TC データを登録します。

CUE MODE1 の時に CUE スイッチを押すと、IN 点のみ登録されます。

※IN 点のみ登録した時は、連続再生クリップとして使用する事は出来ません。

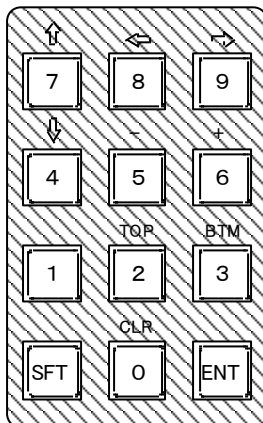
※CUE リストは電源を切断すると、削除します。

電源切断後、CUE リストを残しておきたい時は、SAVE スイッチにて、CUE リストを保存して下さい。

### SEARCH

CUE リスト/ファイルリストの読み出しを行います。

## ⑥ テンキー部



テンキーでは下記の機能を行う事が可能です。

- GOTO 機能
- CUE MODE1 使用時の CUE 登録番号による CUE 点の呼び出し
- CUE MODE1 連続再生の CUE 点の登録機能
- CUE MODE2 ...テンキーへの CUE 点の登録機能
- MENU 操作

テンキー機能としては、SHIFT ボタン消灯中は0～9の機能となり、SHIFT ボタン点灯中は、ボタン上部に表示されているものが有効になります。

※SHIFT ボタンを押すとボタンが点灯し SHIFT 状態が保持されます。もう一度 SHIFT ボタンを押すと解除されます。

⑦ 十字キー部



十字キーは下記機能を行う事が可能です。



CUE MODE1,2 使用時

登録した CUE の選択と呼び出しを行います



CUE MODE3(ファイルモード)

ファイル情報の取得及び、ファイルの呼び出しを行います。



IN 点に CUE UP します。



OUT 点に CUE UP します。



ファイル名の選択、CUE 点の選択に使用します。



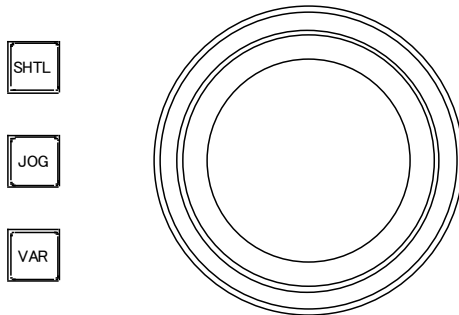
ファイル名の選択、CUE 点の選択に使用します。

※ 上キーを押したまま下キーを押すと 10 個単位での選択が可能です。

※ CUE MODE に入ると十字キーの左右キーが点灯し、選択したクリップに IN 点/OUT 点があるか表示します。

連続再生モードでのクリップ選択時に確認する事が可能です。

### ⑧ JOG/SHUTTLEダイヤル



JOG、SHUTTLE、の各制御を行ないます。

VARを押下するとT-BARでスローコントロールが可能です。

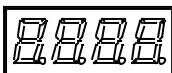
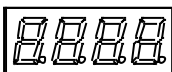
※下記メニューでSHUTTLEの最大スピードの変更が可能です。

RS-422 PORT	ShtlMaxTyp	×4/×8/×16/×32/×50/×60/×100/×200/MAX FF/FR SHTL 最大スピードの設定です
-------------	------------	--

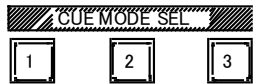
### ⑨ VAR1/2/3スイッチ



固定VARスピードを3個メニューで設定してスイッチを押下することにより設定したスピードで再生します。メニューで設定した数値はボタン下の表示器に表示されます。



## ⑩ CUE MODE SEL 1/2/3 スイッチ



CUE の登録方法を切替えることが可能です。

### CUE MODE 1

- CUE 点登録モード／連続再生モードになります。
- CUE 点を 999 個登録する事が可能です。
- AE スイッチを点灯させる事で連続再生モードになります。

### CUE MODE 2

- テンキーへの CUE 点登録モードになります。
- CUE 点を 90 個登録する事が可能です。  
(1 ページにつき 10 個まで CUE 点登録が可能で、9 ページ備えてます)

### CUE MODE 3 (ファイルリストモード)

- ファイルリストを取得するモードです。
- SFT + ENT でファイルリストの取得を行います。
- 十字キーで、ファイルリストの選択を行います。
- SEARCH スイッチで、選択したファイルリストの読み込みを行います。

## ⑪ SAVE スイッチ



登録した CUE 点を保存します。

CUE 点を保存したいときに約**3秒間**押下して下さい。

液晶画面に「Cue & Event Saving Please Wait…」と表示されるのを確認し、表示が消えたら CUE 点保存完了です。

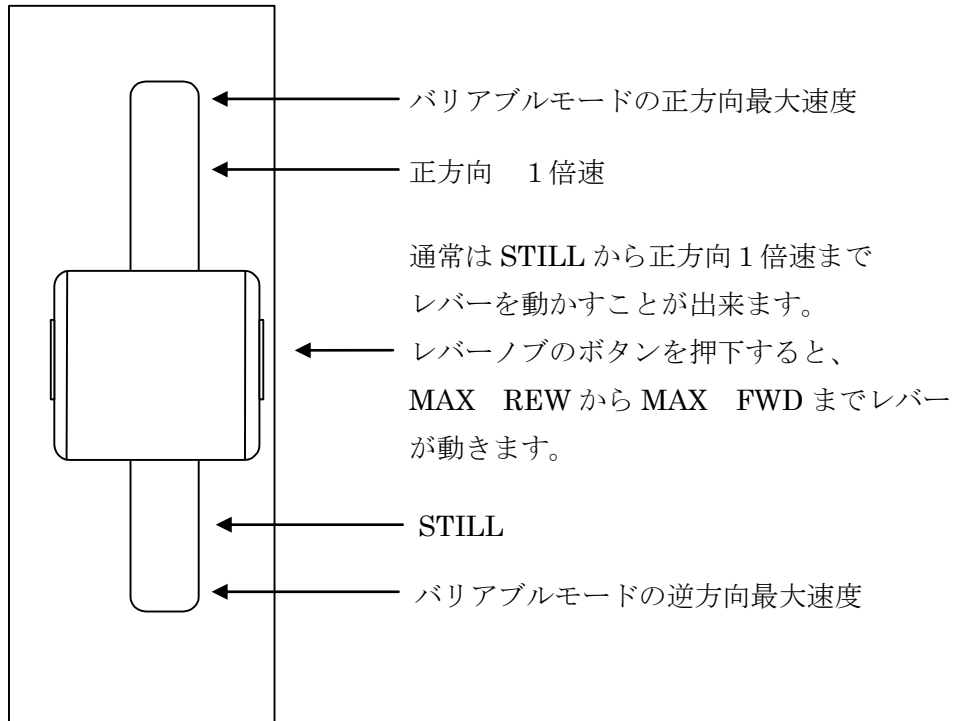
※本操作を行わずに電源を OFF にすると、登録した CUE 点は削除されます。

※電源立ち上げ時は、前回(またはそれ以前)起動時の最後に保存した CUE 点を読み込みます。

※保存した CUE 点を削除するには、メニュー”CONSOLE > EraseEve&Cue”にて Cue 点の削除を行わない、SAVE スイッチを押して下さい。

※セーブ回数に制限があります約 10 万回を超えるとセーブできなくなることがあります。

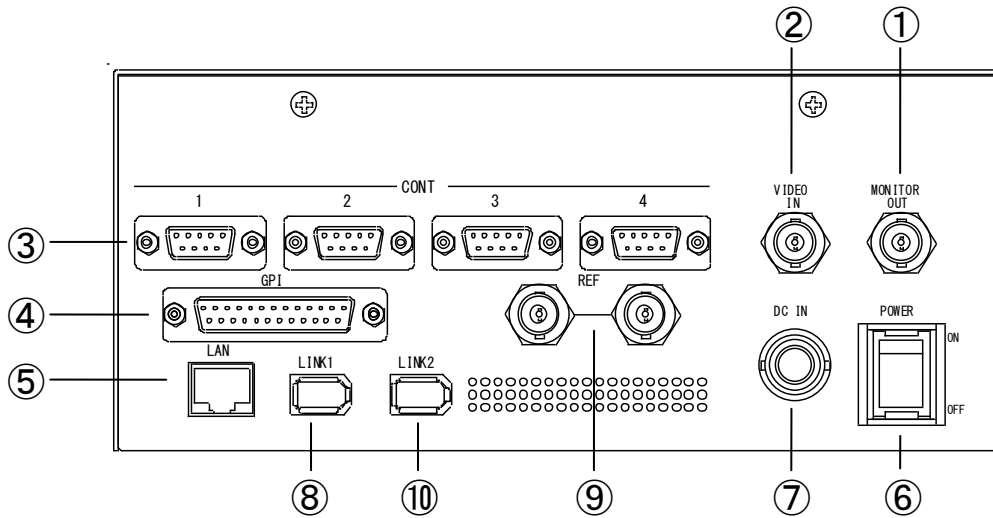
## ⑤T-BAR



VARボタンを押下してバリエブルモードにします。T-BARを動かすと0~1倍速で再生できます。T-BARのボタンを押下することで正方向1~最大速度/逆方向0~最大速度で動作します。

※最大速度は、オペレーション装置によって異なります。

#### 4. 背面パネル各部の名称



- ① CONT (Dsub9F 座コネクタ)  
RS-422 制御 VTR 及びディスクレコーダーと接続します。
- ② GPI (Dsub25F 座コネクタ)  
メニューにより設定します。
- ③ LAN (RJ45 用モジュラーコネクタ)  
パソコンと接続してバージョンアップ等に使用します。
- ④ ⑤LINK1/LINK2  
弊社 DCP-1000 接続時に使用します。
- ⑥ REF (BNC コネクタ)  
NTSC 又は PAL 同期信号を入力します。(ループスルー付き)  
※本機を PAL 環境で使用する場合には MENU"SYSTEM > \$SysFrmTyp"  
を PAL に設定変更して下さい。
- ⑦ ⑧VIDEO IN (BNC コネクタ)  
※オプション スーパーインポーズ機能は未対応です。
- ⑨ DC IN  
DC 電源を接続します。  
※故障の原因となりますので専用の ACアダプターを使用して下さい
- ⑩ 電源スイッチ

## 5. 機能と操作方法

MDC-50Tb では下記の機能が装備されています。

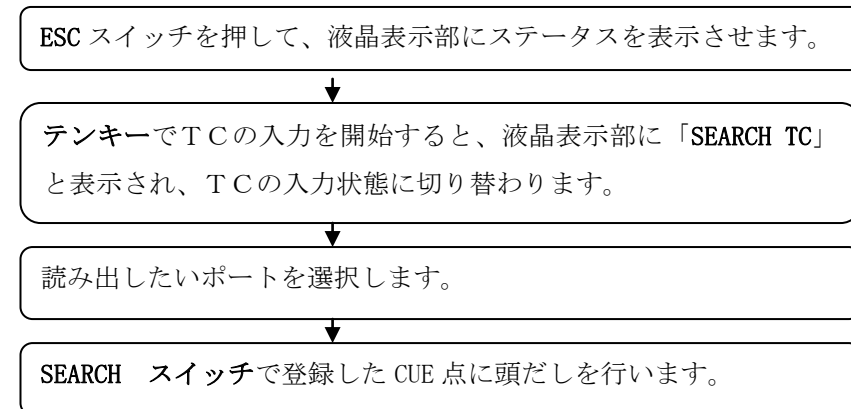
- **GOTO 機能**  
タイムコードをテンキーにて入力し、頭だしをする機能です。
- **CUE 機能(MODE1)**  
液晶表示部にタイムコードを登録して、頭だしをする機能です。
- **CUE 機能(MODE2)**  
テンキー部にタイムコードを登録して、頭だしをする機能です。
- **ファイル情報取得機能**  
ファイル管理されている機器のファイル情報の取得を行います。
- **カップリング機能**  
収録系制御と再生系の制御の2ポートを同時に制御する事により、感覚的にタイムコードの登録／頭だしをする機能です。
- **パラ制御機能**  
複数のポートに同時に制御する事が可能です。
- **連続再生機能**  
CUE MODE1 で登録した IN 点 OUT 点情報(クリップ)を並べて連続再生する機能です。
- **キーアサインの変更機能**
- **GPI 機能**  
外部パラレル制御で、対象機器を制御する機能です。
- **MENU 設定の登録呼び出し機能**

## 5.1 GOTO 機能

タイムコードをテンキーにて入力し、入力したタイムコードに頭だしする事が可能です。

※本機能は、通常モード時のみ有効です。ESC スイッチを押す事で通常モードになります。

### 操作方法





## 5.2 CUE 機能(MODE1)

CUE MODE SEL 部の MODE1 スイッチを押すと、対象機器のタイムコードを LCD 表示に記憶させ、頭だしを行う事が可能です。

タイムコードの登録は、IN 点の登録と IN/OUT 点の登録の 2 種の登録が可能です。

本モード動作中は、CUE MODE SEL の MODE1 スイッチは点滅します。

モード中で標準モードに移行した時、MODE1 スイッチは点灯します。

登録可能数 : 999 個

### 5.2.1 CUE の登録と修正(MODE1)

登録を行いたいシーンを PLAY 操作/JOG 操作で探します。

CUE 点の登録は下記の 2 パターンがあります。

① **CUE** スイッチを押す。

② **IN**スイッチ+**OUT** スイッチで仮登録してから **CUE** スイッチを押す。

※ INスイッチ+OUT スイッチは上書きする事が可能です。

※ IN時間より、OUT時間が前の時間の時は登録出来ません。

※ 電源を切ると登録した CUE 点は削除されます。電源を切って再度 CUE 点を使用したい時は SAVE スイッチを押す事により CUE 点を登録する事が可能です。

#### CUE 点の修正

修正したい CUE 点を CUE UP します。JOG/SHTL 等を使って CUE 点を探します。CUE 点が決まったら **SHIFT** スイッチ+**CUE** スイッチで CUE 点は上書きされます。

※ メニューの設定により上書きが可能です。

関連メニュー	
CONSOLE	CueInsMod
	<b>Apend</b> CUE 登録したときに最後に登録されます
	<b>Ins</b> 呼び出した CUE の前に登録されます
	<b>Ovw</b> 呼び出した CUE に上書きされます
	CUE を呼び出した後の CUE 登録動作の選択をします

#### CUE 点の削除

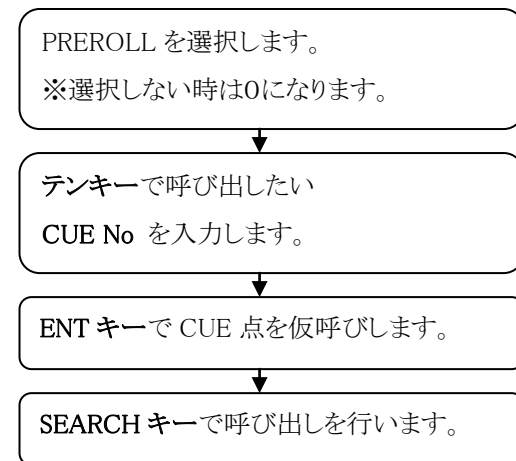
消去したい CUE 点を選択し、**SHIFT** スイッチ+**0**(CLR)スイッチを押すと選択した CUE 点が削除されます。

### 5.2.2 CUE の呼び出し(MODE1)

CUE の呼び出しは、十字スイッチ部で呼び出しを行なう方法と、SEARCH ボタンで呼び出す方法と2種ありモードにより操作方法が異なりますので、下記操作方を参照して下さい。各 CUE モードに入るには、CUE MODE SEL スイッチを押下して下さい。

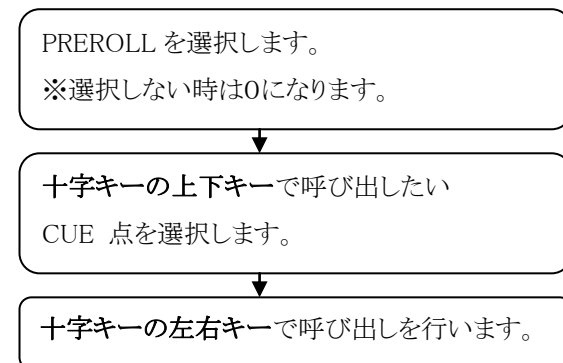
#### 操作方法(1)

SEARCH キーで読み出しを行う方法



#### 操作方法(2)

十字キーで読み出しを行う方法



※IN/OUT 点を登録した場合は、左キーで IN 点、右キーで OUT 点の呼び出しが可能です。

※CUE で登録した時は、IN 点のみの登録になるので、十字キーで選択した時、左右キーの左のみ点灯します。

### 5.3 CUE 機能 (MODE2)

CUE MODE SEL 部の MODE2 スイッチを押すと、テンキー部にタイムコードを記憶させ、頭だしを行う機能です。

本モード動作中は、CUE MODE SEL の MODE2スイッチは点滅します。

本モード中で標準モードになった時 MODE2スイッチは点灯します。

登録可能数 : 90 個

下記に操作方法を記載します。

#### 5.3.1 CUE の登録と修正 (MODE2)

登録するテンキー位置の選択

登録するテンキーが点滅します。



SFT + テンキーでテンキーの登録ページを切り替える事が可能です。  
ページの確認は LCD 表示部に“CUE[ページ No]-[CUE No]”が表示されます。



登録を行いたいシーンを PLAY 操作/JOG 操作で探し、  
CUE スイッチを押すと、点滅しているテンキーにタイムコードが登録され、  
スイッチは点滅から点灯に変わります。

※ CUE 点の登録位置は自動でインクリメントします。

※ 電源を切ると登録した CUE 点は削除されます。電源を切って再度 CUE 点を使用したい時は SAVE スイッチを押す事により CUE 点を保存する事が可能です。

#### CUE 点の修正

修正したい CUE 点を CUE UP します。JOG/SHTL 等を使って CUE 点を探します。CUE 点が決まったら SHIFT+CUE スイッチを押します。

#### CUE 点の削除

消去したい CUE 点を選択し、SHIFT スイッチ+0 (CLR) スイッチを押すと選択した CUE 点が削除されます。

### 5.3.2 CUE の呼び出し(MODE2)

CUE の呼び出しは、テンキー部で呼び出しを行います。

CUE モードに入るには、CUE MODE SEL スイッチを押下して下さい。

#### 操作方法

テンキーで CUE の読み出しを行う方法

PREROLL を選択します。  
※選択しない時は0になります。



CUE の登録ページを選択します。SFT + 数字



登録されている数字を押すと、CUE の呼び出しをします。

## 5.4 ファイル管理機能

VDCP 機器のファイル情報を取得して呼び出す事が可能です。

又、録画時には自動でファイルを作成します。

### 5.4.1 ファイル情報の呼び出し

CUE MODE SEL 部の MODE3スイッチを押すと、ファイルモードになり液晶表示部で、収録ファイルを選択して呼び出しを行う事が可能です。

#### 操作方法

下記手順でファイル情報の呼び出しを行います。

ファイル名は液晶表示部で確認します。

ファイルモードにする: CUE MODE SEL 部の **MODE3**スイッチ



ファイル情報の取得: **SFT + ENT** スイッチ

※MDC-50Tb へのファイル名の読み込みは300 個までです。

ファイルが300 個以上ある場合は、それ以上のファイル名は読み込まれません。



ファイルを選択する: **十字キーの上下** スイッチ

※登録ファイル数が多い時は、左右キーを押しながら、上下キーを押すと、10個単位での移動が可能です。



読み出したいポートを選択します。(PORT 選択ボタン2)



ファイルの読み出し: **SEARCH** スイッチ

※メニューの設定で、ファイルを選択時に画像を呼び出す事も可能です。

(但しこの機能が有効時は、CUE 点の登録も画像を呼び出します)

関連メニュー 下記、□はデフォルト設定です。		
CONSOLE	AutoCueup	<input checked="" type="checkbox"/> <b>Disable</b> 機能しない <input type="checkbox"/> <b>Enable</b> 機能する
CUE を呼び出したときに SEARCH ボタンを押さなくても CUE UP するかを選択します		

#### 5.4.2 録画時のファイル名称について

VDCP プロトコルでの制御時、録画時にファイル名称を発行して収録を行います。

ファイル名は、"M0110000"の様なファイル名が作成されます。

REC、STOPを繰り返すたびに、ファイルを作成しますので、ファイル名は"M0110001" "M0110002"のように下四桁が変わっていきます。0000～9999までファイル番号が作成されます。9999を過ぎると、ファイル名は、0000からまた作成されます。

ファイル名の意味合いを下記に説明します。

**M 0 1 1 0 0 0 0**

MDC ID番号	MDC ポート番号	ファイル番号 0000～9999
-------------	--------------	---------------------

※ファイル名はメニューによりファイル番号を指定して作成することが可能です。

関連メニュー		
CONSOLE	P1RecFno	"0000～9999"(Def=0000) 収録 File 番号の設定
CONSOLE	P2RecFno	"0000～9999"(Def=0000) 収録 File 番号の設定
CONSOLE	P3RecFno	"0000～9999"(Def=0000) 収録 File 番号の設定
CONSOLE	P4RecFno	"0000～9999"(Def=0000) 収録 File 番号の設定

#### 5.4.3 ファイル名の確認

収録及び再生中のファイル名称を確認する事が可能です。

通常モード時、**SFT**スイッチを押下すると、選択されているポートのファイル名が液晶表示部に表示されます。

※ファイル名表示数は半角英数字で30文字です。

30文字より長いファイル名の表示は行えません

#### 5.4.4 ファイルの削除

CUE MODE SEL 部の MODE3スイッチを押すと、ファイルモードになり液晶表示部で、収録ファイルを選択して削除を行う事が可能です。

##### 操作方法

下記手順でファイル情報の呼び出しを行います。

ファイル名は液晶表示部で確認します。

ファイルモードにする：CUE MODE SEL 部の **MODE 3** スイッチ



ファイル情報の取得：**SFT + ENT** スイッチ

※MDC-50Tb へのファイル名の読み込みは300 個までです。

ファイルが300 個以上ある場合は、それ以上のファイル名は読み込まれません。



ファイルを選択する：**十字キーの上下** スイッチ

※登録ファイル数が多い時は、上キーを押したまま、下キーを押すと、

10個単位での移動が可能です。



ファイルの読み出し：**SEARCH** スイッチ



ファイルの削除：**SFT+CLR** スイッチを**長押**します。

※DEL\*\*\*\* と表示されれば削除完了です。

UNLOAD と表示される時は、対象ファイルが読み込まれていません。

SEARCH スイッチでファイルを読み出して下さい。

※ファイルの削除を行うにはメニューの設定が必要です

関連メニュー 下記、□はデフォルト設定です。		
CONSOLE	FdelOprEna	<input checked="" type="checkbox"/> <b>Disable</b> ファイル削除を禁止する <input type="checkbox"/> <b>Enable</b> ファイル削除を許可する MDC50Tb によるファイル削除操作禁止の設定

## 5.5 カップリング機能

カップリング機能とは、メモリーレコーダ／ディスクレコーダー等で収録を行いながら再生する事が可能な機器に対して、行う事が可能な制御です。

2ポート使用する事により、収録が側ポートの TC で CUE 点の登録を行い、再生ポートへ呼び出しを行う事が可能になります。

※ 対象機器との接続は2ポート使用します。(REC ポート／PLAY ポート)

### 5.5.1 カップリング機能の設定と動作

カップリング機能を有効にする為には、下記の設定を行う必要があります。

#### Coupling 設定を行う

下記のメニュー設定を行って下さい。

関連メニュー		下記、□はデフォルト設定です。 <input checked="" type="checkbox"/> は設定例です。	
CONSOLE	PortCtlMode	Normal	:VTR の制御を行ないます
		ParaSel	:パラ制御機能を有効にします。
		<input checked="" type="checkbox"/> Coupling	:カップリング機能を有効にします。

#### CUE 点の登録エリアの設定を行う

CUE を登録するエリアはポート毎に独立して存在している為、カップリング設定時は、2ポートのエリアを1つにする必要があります。

下記のメニュー設定を設定例に設定すると、ポート1と2を Disk Recode とポート3と4は VTR と接続する設定になります。

関連メニュー		下記、□はデフォルト設定です。 <input checked="" type="checkbox"/> は設定例です。	
CONSOLE	P1EveCueArea	<input checked="" type="checkbox"/> AREA-A / AREA-B / AREA-C / AREA-D	ポート1の CUE データの保管エリアを設定します
CONSOLE	P2EveCueArea	<input checked="" type="checkbox"/> AREA-A / AREA-B / AREA-C / AREA-D	ポート2の CUE データの保管エリアを設定します
CONSOLE	P3EveCueArea	AREA-A / AREA-B / <input checked="" type="checkbox"/> AREA-C / AREA-D	ポート3の CUE データの保管エリアを設定します
CONSOLE	P4EveCueArea	AREA-A / AREA-B / AREA-C / <input checked="" type="checkbox"/> AREA-D	ポート4の CUE データの保管エリアを設定します
CONSOLE	P1FlistArea	<input checked="" type="checkbox"/> AREA-A / AREA-B / AREA-C / AREA-D	ポート1の File List の保管エリアを設定します
CONSOLE	P2FlistArea	<input checked="" type="checkbox"/> AREA-A / AREA-B / AREA-C / AREA-D	ポート2の File List の保管エリアを設定します
CONSOLE	P3FlistArea	AREA-A / AREA-B / <input checked="" type="checkbox"/> AREA-C / AREA-D	ポート3の File List の保管エリアを設定します
CONSOLE	P4FlistArea	AREA-A / AREA-B / AREA-C / <input checked="" type="checkbox"/> AREA-D	ポート4の File List の保管エリアを設定します



### ポート選択設定を行う

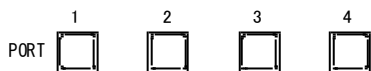
この設定は、録画系のコマンドと再生系のコマンドをどのポート選択で制御するか設定します。

下記のメニュー設定を設定例に設定すると、ポート1と2を Disk Recode とポート 3 と 4 は VTRを接続する場合の設定になります。

関連メニュー		下記、□はデフォルト設定です。■は設定例です。	
EXTENSION-1	P1-RecCplg	0001	ポート 1 選択時に REC コマンドを投げるポートを設定します
EXTENSION-1	P2-RecCplg	0001	ポート2選択時に REC コマンドを投げるポートを設定します
EXTENSION-1	P3-RecCplg	0100	ポート 3 選択時に REC コマンドを投げるポートを設定します
EXTENSION-1	P4-RecCplg	1000	ポート 4 選択時に REC コマンドを投げるポートを設定します
EXTENSION-1	P1-PlayCplg	0010	ポート 1 選択時に PLAY コマンドを投げるポートを設定します
EXTENSION-1	P2-PlayCplg	0010	ポート 2 選択時に PLAY コマンドを投げるポートを設定します
EXTENSION-1	P3-PlayCplg	0100	ポート 3 選択時に PLAY コマンドを投げるポートを設定します
EXTENSION-1	P4-PlayCplg	1000	ポート 4 選択時に PLAY コマンドを投げるポートを設定します

### カップリング動作

カップリング設定を行うと、ポート選択ボタンが点灯します、



点灯・・・コントロール可能ポート

点滅・・・カップリング設定中、CUE の取得ポート

カップリング動作中の CUE の取得は、収録側 TC で登録するか、再生側 TC で登録するか選択する事が可能です。

CUE 点を取得したポートを選択すると、PORT SW が点滅状態になります。

## 5.6 パラ制御機能

- パラ制御機能とは、ポート選択ボタンで選択されたポートを同時に制御します。
- ※ Refに同期して同時にコマンドを出す機能で、調相制御は行っていません。
  - ※ 対象機器により、JOG/SHTL 制御時は、TC がずれる可能性があります。
  - ※ このモードを使用するときは、同期信号を入力して下さい

### 5.6.1 パラ制御機能の設定と動作

パラ制御機能を有効にする為には、下記の設定を行う必要があります。

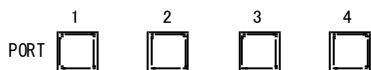
#### ParaSel 設定を行う

下記のメニュー設定を行って下さい。

関連メニュー		下記、□はデフォルト設定です。 <input checked="" type="checkbox"/> は設定例です。	
CONSOLE	PortCtlMode	<b>Normal</b>	:VTR の制御を行ないます
		<b>ParaSel</b>	:パラ制御機能を有効にします。
		<b>Coupling</b>	:カップリング機能を有効にします。

#### パラ制御動作

ParaSel 設定を行うと、ポート選択ボタンが点灯します、



点灯・・・コントロール可能ポート

点滅・・・液晶表示部に TC とステータスを表示しているポート

<表示ステータスの切り替え>

液晶表示部に表示するステータスのポートの切り替えは「SFT+PORT 番号」で行う事が可能です。

<パラ制御時の CUE UP 方法>

パラ制御時の CUE UP 方法として点滅している PORT 番号の TC で選択されているポートを CUE UP する方法と、ポート毎に CUE UP する方法が選択可能です。

※パラ制御機能を使用する時は、JOG/SHTL 動作時 TC のずれが生じる可能性がある為、TC モードで使用して頂き、対象機器を同じ TC で収録するシステムにして下さい。

関連メニュー		下記、□はデフォルト設定です。	
CONSOLE	ParaSchMod	<b>Tc</b>	点滅している PORT の TC で 一斉 Cueup
		<b>Cue No</b>	各 PORT の TC で 一斉 Cueup

## 5.7 連続再生機能

連続再生制御機能とは、IN点とOUT点を登録したCUE点(以下クリップ※)を、テンキーに登録して、連続再生を行う機能です。 ※最小クリップサイズはデバイスに依存します。

※ 本機能は、VDCPプロトコル設定時のみ使用可能です。

※ 本機能は対象機器により動作しない事があります。

※ このモードを使用するときは、同期信号を入力して下さい。

### 5.7.1 連続再生機能の動作

連続再生機能は CUE MODE1 使用時動作します。

連続再生の準備(クリップの登録)

CUE MODE 1 を選択します。

EDIT エリアのAEスイッチを点灯させると、連続再生モードになります。

十字キーの上下キーで呼び出したい CUE 点を選択します。

テンキーへの登録

ENTキーを押しながら、登録したいテンキー番号を押すと、テンキーにクリップが登録されます。

<テンキーの登録ページ>

テンキーの登録ページ、9ページ存在します。

ページの切り替えは、SFT+テンキー番号(1~9)で切り替え可能です。

<テンキーの削除>

登録したクリップを削除する事が可能です。

クリップの削除は、SFT+テンキー0で削除が可能です。

連続再生

連続再生は通常のPLAYボタンではなくP-PLAY操作を行う必要があります。

連続を行う最初のテンキー番号を選択すると点灯から点滅に切り替わり、IN点に頭だしを行います。

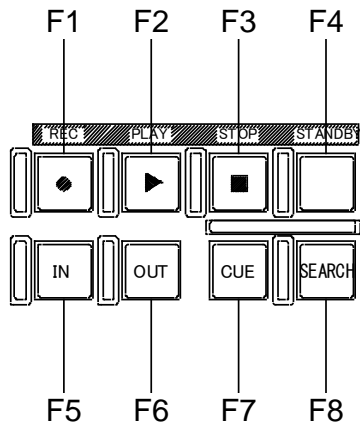
SFT + PLAY を押すと連続再生を開始します。

※テンキーSWの点滅はクリップの連続再生と共に移動します。

※連続再生中にVAR操作/JOG操作/STOP操作を行うとP-PLAYは中断され、登録クリップの連続再生は中断されます。

## 5.8 キーアサインの変更

メニュー設定により下記キーアサインを変更することができます。



メニュースイッチを押下し、メニューに入ります。

関連メニュー □は出荷時設定です		
CONSOLE	KeyAsn Fnc1	<b>F1</b> スイッチのキーアサインを変更します Disable / <b>REC</b> / PLAY / STOP / STBY / IN / OUT / CUE / SEARCH / ENT
CONSOLE	KeyAsn Fnc2	<b>F2</b> スイッチのキーアサインを変更します Disable / REC / <b>PLAY</b> / STOP / STBY / IN / OUT / CUE / SEARCH / ENT
CONSOLE	KeyAsn Fnc3	<b>F3</b> スイッチのキーアサインを変更します Disable / REC / PLAY / <b>STOP</b> / STBY / IN / OUT / CUE / SEARCH / ENT
CONSOLE	KeyAsn Fnc4	<b>F4</b> スイッチのキーアサインを変更します Disable / REC / PLAY / STOP / <b>STBY</b> / IN / OUT / CUE / SEARCH / ENT
CONSOLE	KeyAsn Fnc5	<b>F5</b> スイッチのキーアサインを変更します Disable / REC / PLAY / STOP / STBY / <b>IN</b> / OUT / CUE / SEARCH / ENT
CONSOLE	KeyAsn Fnc6	<b>F6</b> スイッチのキーアサインを変更します Disable / REC / PLAY / STOP / STBY / IN / <b>OUT</b> / CUE / SEARCH / ENT
CONSOLE	KeyAsn Fnc7	<b>F7</b> スイッチのキーアサインを変更します Disable / REC / PLAY / STOP / STBY / IN / OUT / <b>CUE</b> / SEARCH / ENT
CONSOLE	KeyAsn Fnc8	<b>F8</b> スイッチのキーアサインを変更します Disable / REC / PLAY / STOP / STBY / IN / OUT / CUE / <b>SEARCH</b> / ENT

※シルク及びボタン彫刻の変更は出来ません。

## 6. GPI機能と操作方法

本機は、GPI の機能を設定する事が可能です。GPI は入力8Bit と出力8Bit あります。  
各入出力は**4制御ポート毎**に機能を割り付ける事が可能です。

### 6.1 ピンアサイン詳細

下記、メニュー設定毎に色分けして記載しました。

GIP IF (Dsub 25pin メス座)		
ピン番号	属性	対応機能
1	NC	
2	NC	
3	OUT1	メニュー <b>OutLw</b> の設定で機能を割り付ける事が可能です。
4	OUT3	メニュー <b>OutLw</b> の設定で機能を割り付ける事が可能です。
5	OUT5	メニュー <b>OutHi</b> の設定で機能を割り付ける事が可能です。
6	OUT7	メニュー <b>OutHi</b> の設定で機能を割り付ける事が可能です。
7	GND	
8	GND	
9	IN1	メニュー <b>InpLw</b> の設定で機能を割り付ける事が可能です。
10	IN3	メニュー <b>InpLw</b> の設定で機能を割り付ける事が可能です。
11	IN5	メニュー <b>InpHi</b> の設定で機能を割り付ける事が可能です。
12	IN7	メニュー <b>InpHi</b> の設定で機能を割り付ける事が可能です。
13	NC	
14	NC	
15	OUT0	メニュー <b>OutLw</b> の設定で機能を割り付ける事が可能です。
16	OUT2	メニュー <b>OutLw</b> の設定で機能を割り付ける事が可能です。
17	OUT4	メニュー <b>OutHi</b> の設定で機能を割り付ける事が可能です。
18	OUT6	メニュー <b>OutHi</b> の設定で機能を割り付ける事が可能です。
19	GND	
20	GND	
21	IN0	メニュー <b>InpLw</b> の設定で機能を割り付ける事が可能です。
22	IN2	メニュー <b>InpLw</b> の設定で機能を割り付ける事が可能です。
23	IN4	メニュー <b>InpHi</b> の設定で機能を割り付ける事が可能です。
24	IN6	メニュー <b>InpHi</b> の設定で機能を割り付ける事が可能です。
25	NC	

## 6.2 GPI のメニュー設定

GPI 入出力は、それぞれ4ポート毎に機能を設定する事が可能です。

**属性が入力(IN)の設定 SW等を接続可能です。**

GPIの入力を使用する時は下記メニューを **CfgAsn** に設定して下さい。

関連メニュー		□は出荷時設定です。■は設定例です。	
GPI	InpMode	Disable	GPI 入力禁止
		Thr	通常は使用しません
		CfgAsn	InpLw InpHi の設定で動作します。
		Opt	通常は使用しません

### InpLw InpHi の設定

下記メニューで、GPI 属性 IN0-3 / IN4-7 の機能割り付けを行います。

関連メニュー		下記、□は出荷時設定です。
GPI	InpLw	<p>&lt; IN0-3 ピンに機能を設定します。 &gt;</p> <p>Disable IN0-3 の入力を禁止します</p> <p>&lt; 4制御ポートに対応して同じ機能の割付を行います。 &gt;</p> <p>STOP-C IN0-3 が STOP 設定されます</p> <p>PLAY-C IN0-3 が PLAY 設定されます</p> <p>REC-C IN0-3 が REC 設定されます</p> <p>CUE-C IN0-3 が CUE 設定されます</p> <p>SEARCH-C IN0-3 が SEARCH 設定されます</p> <p>STANDBY-C IN0-3 が ST-BY 設定されます</p> <p>OA-C IN0-3 が OA INHI 設定されます</p> <p>※REC/PLAY/STOP/ST-BY/JOG/VAR/STL/SEARCH/機能が、 操作禁止になります。</p> <p>&lt; 1制御ポートに対応して REMA*REMB*機能の割付を行います &gt;</p> <p>REMA1-C IN0-3 がポート1に A 割り当て設定されます</p> <p>REMA2-C IN0-3 がポート2に A 割り当て設定されます</p> <p>REMA3-C IN0-3 がポート3に A 割り当て設定されます</p> <p>REMA4-C IN0-3 がポート4に A 割り当て設定されます</p> <p>※REMA* 機能の A 割付 (*は制御ポート番号です)</p> <p>IN0 STOP</p> <p>IN1 PLAY</p> <p>IN2 FREW</p> <p>IN3 FFOR</p> <p>REMB1-C IN0-3 がポート1に B 割り当て設定されます</p> <p>REMB2-C IN0-3 がポート2に B 割り当て設定されます</p> <p>REMB3-C IN0-3 がポート3に B 割り当て設定されます</p> <p>REMB4-C IN0-3 がポート4に B 割り当て設定されます</p> <p>※REMB* 機能の B 割付 (*は制御ポート番号です)</p> <p>IN0 REC</p> <p>IN1 CUE</p> <p>IN2 SEARCH</p> <p>IN3 ST-BY ON</p>
GPI	InpHi	<p>IN4-7 ピンの設定です。</p> <p>上記と同様システムに合わせて設定を行って下さい。</p>

**属性が出力(OUT)の設定) LED等を接続可能です。**

GPIの入力を使用する時は下記メニューを **CfgAsn** に設定して下さい。

関連メニュー		下記□は出荷時設定です。	
GPI	OutMode	<input checked="" type="checkbox"/> Disable	GPI 入力禁止
		<input type="checkbox"/> Thr	通常は使用しません
		<input checked="" type="checkbox"/> CfgAsn	InpLw InpHi の設定で動作します。
		<input type="checkbox"/> Opt	通常は使用しません
		<input type="checkbox"/> Test	通常は使用しません(IN/OUT がスルー状態になります)

**OutLw OutHi の設定**

下記メニューで、GPI 属性 OUT0-3 / OUT4-7 の機能割り付けを行います。

関連メニュー		□は出荷時設定です。	
GPI	OutLw	<p>&lt; OUT0-3 ピンに機能を設定します。 &gt;</p> <input checked="" type="checkbox"/> Disable    OUT0-3 の出力を禁止します < 4制御ポートに対応して同じ機能の割付を行います。 > STOP-S        OUT0-3 が STOP 設定されます PLAY-S        OUT0-3 が PLAY 設定されます REC-S         OUT0-3 が REC 設定されます SEARCH-S     OUT0-3 が SEARCH 設定されます STANDBY-S    OUT0-3 が STANDBY 設定されます OA-S          OUT0-3 が OA 設定されます < 1制御ポートに対応して REMA*REMB*機能の割付を行います > REMA1-S      OUT0-3 がポート1に A 割り当て設定されます REMA2-S      OUT0-3 がポート2に A 割り当て設定されます REMA3-S      OUT0-3 がポート3に A 割り当て設定されます REMA4-S      OUT0-3 がポート4に A 割り当て設定されます ※REMA* 機能の A 割付 (*は制御ポート番号です) OUT0   STOP OUT1   PLAY OUT2   FREW OUT3   FFOR REMB1-S      OUT0-3 がポート1にB割り当て設定されます REMB2-S      OUT0-3 がポート2にB割り当て設定されます REMB3-S      OUT0-3 がポート3にB割り当て設定されます REMB4-S      OUT0-3 がポート4にB割り当て設定されます ※REMB* 機能の B 割付 (*は制御ポート番号です) OUT0   REC OUT1   ---- OUT2   SEARCH OUT3   ST-BY ON Levell/LevelH/EventL/EventH    通常は使用しません	
GPI	OutHi	OUT4-7 ピンの設定です。 上記と同様システムに合わせて設定を行って下さい。	

## 7. メニュー設定及び操作方法

### 7.1 メニューの操作方法



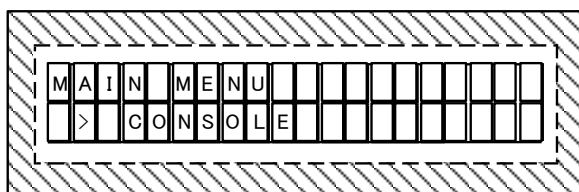
メニューモードに入るスイッチです。再度押下するとメニューモードが解除されます。

※CUE MODE に入っているときは MENU スイッチを押下してもメニューに入れません。

ESC スイッチで CUE MODE を抜けてから MENU スイッチを押下して下さい。

メニューの操作はテンキー部の **SFT ボタン+↑/↓**(項目移動)**←/→**(カーソル移動)**+  
+/-**(設定移動)キーを使用してメニューの移動と変更を行ないます。

MENU スイッチを押下すると SHIFT スイッチが点灯し SHIFT 状態が保持されます。



#### メインメニュー

- > CONSOLE
- > RS-422 PORT
- > GPI
- > LAN/LINK
- > SYSTEM
- > EXTENSION-1(ディスクソフトのみ表示)

**SFT スイッチ+↑/↓**(項目移動)で項目を移動して **ENT** スイッチを押下します。メインメニューからサブメニューに移ります。(メニュー一覧参照)サブメニューに入り **SFT スイッチ+↑/↓**(項目移動)で項目を移動し、**+/-**(設定移動)キーで設定を移動します。**ENT** キーを押して設定変更します。



## 7.2 メニューの保存と読み出し方法

### 7.2.1 メニューの保存

メニューモードに入り SYSTEM の”#CfgBnkSv”で現在設定しているメニューの保存が可能です。

メニューの保存は8個登録できます。

登録方法は、”#CfgBnkSv”内で＋スイッチにより Bank1～8”の何れか SAVE したい Bank を選び ENT スイッチを押すとメニュー内容が指定されたバンクへ保存されます。

**※セーブ後リスタートがかかります。**

### 7.2.2 メニューの読み出し

メニューモードに入り CONSOLE の”#CfgBnkLd”で事前に保存したメニュー内容を読み出すことが可能です。

読み出し方法は、”#CfgBnkLd”内で＋スイッチにより Bank1～8”の何れか LOAD したい Bank を選び ENT ボタンを押します。

指定されたバンクからメニュー内容が読み出され現在の設定に反映されます。データの無い Bank を選ぶと LOAD 時に”NoData”と表示されます。

**※ロード後リスタートがかかります。**

### 7.3 メニュー一覧とエラー表示

\*\*\*は、デフォルト設定です。

項目メイン	サブ項目	設定
CONSOLE	EraseEve&Cue	<b>NoErase</b> クリアしません(誤操作防止用) <b>Port1</b> ポート1に割当てられている CUE データ保管エリアをクリア <b>Port2</b> ポート2に割当てられている CUE データ保管エリアをクリア <b>Port3</b> ポート3に割当てられている CUE データ保管エリアをクリア <b>Port4</b> ポート4に割当てられている CUE データ保管エリアをクリア <b>ALL</b> 全ポートに割当てられている CUE データ保管エリアをクリア 登録した Cue 点をクリアします。
CONSOLE	OA-Inhi	<b>OFF</b> OA 中でも操作(制御)が可能です <b>ON</b> OA 中、操作(制御)を禁止します
CONSOLE	Preroll-1	<b>“00:00~09:29”(Def=00:00)</b> Preroll-1 のプリロールタイム設定 (CUE UP したときのプリロールタイムの設定です)
CONSOLE	Preroll-2	<b>“00:00~09:29”(Def=03:00)</b> Preroll-2 のプリロールタイム設定 (CUE UP したときのプリロールタイムの設定です)
CONSOLE	Preroll-3	<b>“00:00~09:29”(Def=05:00)</b> Preroll-3 のプリロールタイム設定 (CUE UP したときのプリロールタイムの設定です)
CONSOLE	PlstExecMod	連続再生時の再生方法の設定を行います <b>A</b> 全てのページを通して実行 <b>All-S</b> 同上。但し空きがあればそこで停止 <b>Page</b> 現在のページ内で実行 <b>Page-S</b> 同上。但し空きがあればそこで停止
CONSOLE	PlstAutoEnt	連続再生時、テンキーへの登録を CUE スイッチと連動して行います。 <b>Disable</b> 自動登録動作しない <b>Enable</b> 自動登録を行う
CONSOLE	\$DefCueModeSel	<b>Mode1</b> CUE ボタンモード <b>Mode2</b> テンキーモード <b>Mode3</b> IN/OUT ボタンモード 電源立ち上げ時の CUE モードを設定します
CONSOLE	CueInsMod	<b>Apend</b> CUE 登録したときに最後に登録されます <b>Ins</b> 呼び出した CUE の前に登録されます <b>Ovw</b> 呼び出した CUE に上書きされます CUE を呼び出した後の CUE 登録動作の選択をします
CONSOLE	AutoCueup	<b>Disable</b> 機能しない <b>Enable</b> 機能する CUE を呼び出したときに SEARCH ボタンを押さなくても CUE UP するかを選択します
CONSOLE	CueAutoIns	<b>Disable</b> 上書き登録 <b>Inc</b> 上書き登録後、次に進みます <b>Search</b> 次の空きを探して登録します CUE MODE SEL2 選択時に、CUE 登録割り当ての方法を設定します
CONSOLE	AfterCueup	<b>Disable</b> StopComdSel で設定した状態になります <b>Shtl</b> SHTL 状態になります <b>Jog</b> JOG 状態になります <b>T-Bar</b> VAR 状態になります CUE UP 後の状態設定
CONSOLE	SchEnaMod	<b>Normal</b> Rec 中は CUE UP 禁止 <b>Rec</b> Rec 中でも強制 Cueup 許可 Rec 中に CUE UP させるかの設定(VTR 使用時)
CONSOLE	ParaSchMod	<b>Tc</b> マスタ Port の Tc 値 で 一斉 Cueup <b>Cue No</b> マスタ Port の Cue 番号で(各 Port の Bank 別の同 Cue 番号 Tc 値で) 一斉 Cueup ParaSel モード使用時の CUE UP 方法の設定

CONSOLE	CtlDspMod	<b>24H</b> 24H表示します <b>12H</b> ±12H表示します CTL カウントを 24 時間表示にするか 12 時間表示にするかを選択します
CONSOLE	CtlResetMod	<b>CmdSend</b> CTL RESET コマンドを送信し、デバイスの CTL 表示と MDC の表示をリセットします <b>Emu</b> MDC の表示のみを0リセットします(デバイスの CTL はリセットされません)
CONSOLE	CtlPresetTc	<b>00:00:00:00~23:59:59:29(Def=00:00:00:00)</b> CTL Reset 時の PresetTc. ・但し “CtlResetMod” の設定に依存. ・“CmdSend”: コマンド送信でプリセット. ・“Emu”: MDC50T 内部計算で見かけ上のプリセット
CONSOLE	LtcgPreset	<b>00:00:00:00~23:59:59:29 (Def=00:00:00:00)</b> ・TC + RESET 押下時に送信される LTC Gen 値 ・本値の送信が機器に反映されるかは機器側の LTC ジェネレータモード に依存します
CONSOLE	VAR-1	<b>“-999%~999%”(Def=100%)</b> VAR-1 のスピードを設定します
CONSOLE	VAR-2	<b>“-999%~999%”(Def=50%)</b> VAR-2 のスピードを設定します
CONSOLE	VAR-3	<b>“-999%~999%”(Def=30%)</b> VAR-3 のスピードを設定します
CONSOLE	StbySwMod	<b>ON</b> OFF するときには SHIFT+ST-BY スイッチで ST-BY OFF になります <b>ON/OFF</b> ON/OFF が ST-BY スイッチでトグル動作になります ST-BY スイッチの動作を選択します
CONSOLE	StopSwDisp	<b>Normal</b> StopSw は停止時常に点灯します <b>RefSts</b> 違う Ref 信号が入力された時、StopSw が点滅して警告します
CONSOLE	Up/DwCsrMod	<b>Normal</b> 常にスクロール操作が有効 <b>+Sift</b> シフトキーを押しながら操作が有効 十字キーの上下キー操作モードの設定
CONSOLE	Lf/RtCupEna	<b>Disable</b> CUE MODE 時、操作を禁止します <b>Enable</b> CUE MODE 時、操作を可能にします 十字キーの左右キー操作モードの設定
CONSOLE	PushDis	<b>Normal</b> すべて機能します <b>PushDis</b> ダイヤルのプッシュを無効にする JOG ダイヤルのプッシュで JOG/SHTL 及び JOG/SHTL ボタンの切替えの ON/OFF の設定します(MDC-50Tb では使用できません)
CONSOLE	SpdChgModPt1	<b>Normal</b> MDC50Tb 優先 <b>Model</b> VTR を LOCAL で操作した時、MDC50Tb 側の SHTL、JOG、VAR を解除します VTR を LOCAL で操作した時、MDC50Tb 側の SHTL、JOG、VAR 状態の扱いをポート1に設定します。
CONSOLE	SpdChgModPt2	<b>Normal</b> MDC50Tb 優先 <b>Model</b> VTR を LOCAL で操作した時、MDC50Tb 側の SHTL、JOG、VAR を解除します VTR を LOCAL で操作した時、MDC50Tb 側の SHTL、JOG、VAR 状態の扱いをポート2に設定します。
CONSOLE	SpdChgModPt3	<b>Normal</b> MDC50Tb 優先 <b>Model</b> VTR を LOCAL で操作した時、MDC50Tb 側の SHTL、JOG、VAR を解除します VTR を LOCAL で操作した時、MDC50Tb 側の SHTL、JOG、VAR 状態の扱いをポート3に設定します。
CONSOLE	SpdChgModPt4	<b>Normal</b> MDC50Tb 優先 <b>Model</b> VTR を LOCAL で操作した時、MDC50Tb 側の SHTL、JOG、VAR を解除します VTR を LOCAL で操作した時、MDC50Tb 側の SHTL、JOG、VAR 状態の扱いをポート4に設定します。

CONSOLE	RecStopMod	<b>Normal</b> <b>+Shift</b>	STOP スイッチで REC が止まります SFT&STOP スイッチで REC が止まります REC を STOP させる方法を設定します。※VTR 操作時
CONSOLE	PortCtlMode	<b>Normal</b> <b>ParaSel</b> <b>Coupling</b>	VTR の制御を行ないます パラ制御機能を有効にします。 カップリング機能を有効にします。
CONSOLE	P1EveCueArea	<b>AREA-A</b> / AREA-B / AREA-C / AREA-D	ポート1の CUE データの保管エリアを設定します
CONSOLE	P2EveCueArea	<b>AREA-A</b> / AREA-B / AREA-C / AREA-D	ポート2の CUE データの保管エリアを設定します
CONSOLE	P3EveCueArea	AREA-A / AREA-B / <b>AREA-C</b> / AREA-D	ポート3の CUE データの保管エリアを設定します
CONSOLE	P4EveCueArea	AREA-A / AREA-B / AREA-C / <b>AREA-D</b>	ポート4の CUE データの保管エリアを設定します
CONSOLE	P1FlistArea	<b>AREA-A</b> / AREA-B / AREA-C / AREA-D	ポート1の File 名の保管エリアを設定します
CONSOLE	P2FlistArea	<b>AREA-A</b> / AREA-B / AREA-C / AREA-D	ポート2の File List の保管エリアを設定します
CONSOLE	P3FlistArea	AREA-A / AREA-B / <b>AREA-C</b> / AREA-D	ポート3の File List の保管エリアを設定します
CONSOLE	P4FlistArea	AREA-A / AREA-B / AREA-C / <b>AREA-D</b>	ポート4の File List の保管エリアを設定します
CONSOLE	P1RecFno	"0000~9999"(Def=0000)	収録 File 番号 設定 ※ディスクソフト使用時のみ
CONSOLE	P2RecFno	"0000~9999"(Def=0000)	収録 File 番号 設定 ※ディスクソフト使用時のみ
CONSOLE	P3RecFno	"0000~9999"(Def=0000)	収録 File 番号 設定 ※ディスクソフト使用時のみ
CONSOLE	P4RecFno	"0000~9999"(Def=0000)	収録 File 番号 設定 ※ディスクソフト使用時のみ
CONSOLE	FdelOprEna	<b>Disable</b> <b>*Enable</b>	ファイル削除を許可しない ファイル削除を許可する 接続している DiskRecorder 内のファイル削除操作を許可するか選択 ※Disk ソフト VDCP ソフト使用時のみ
CONSOLE	KeyAsn Fnc1		スイッチのキーアサインを変更します <b>Disable</b> / <b>REC</b> / PLAY / STOP / STBY / IN / OUT / CUE / SEARCH / ENT
CONSOLE	KeyAsn Fnc2		スイッチのキーアサインを変更します <b>Disable</b> / REC / <b>PLAY</b> / STOP / STBY / IN / OUT / CUE / SEARCH / ENT
CONSOLE	KeyAsn Fnc3		スイッチのキーアサインを変更します <b>Disable</b> / REC / PLAY / <b>STOP</b> / STBY / IN / OUT / CUE / SEARCH / ENT
CONSOLE	KeyAsn Fnc4		スイッチのキーアサインを変更します <b>Disable</b> / REC / PLAY / STOP / <b>STBY</b> / IN / OUT / CUE / SEARCH / ENT
CONSOLE	KeyAsn Fnc5		スイッチのキーアサインを変更します <b>Disable</b> / REC / PLAY / STOP / STBY / <b>IN</b> / OUT / CUE / SEARCH / ENT
CONSOLE	KeyAsn Fnc6		スイッチのキーアサインを変更します <b>Disable</b> / REC / PLAY / STOP / STBY / IN / <b>OUT</b> / CUE / SEARCH / ENT
CONSOLE	KeyAsn Fnc7		スイッチのキーアサインを変更します <b>Disable</b> / REC / PLAY / STOP / STBY / IN / OUT / <b>CUE</b> / SEARCH / ENT
CONSOLE	KeyAsn Fnc8		スイッチのキーアサインを変更します <b>Disable</b> / REC / PLAY / STOP / STBY / IN / OUT / CUE / <b>SEARCH</b> / ENT

CONSOLE	CG DispSw	<b>OFF</b> 表示 OFF <b>ON-1</b> 黒背景有り <b>ON-2</b> 黒背景無し スーパー表示の ON/OFF ※未対応
CONSOLE	CG Posi	<b>0~9(Def=9)</b> スーパー表示の行位置を設定します ※未対応
CONSOLE	CG DispTyp	<b>MODE1</b> CUE NEXT 表記有り <b>MODE2</b> CUE NEXT 表記無し NEXT スーパーの表示有無設定 ※未対応
CONSOLE	CG V Adj	<b>0~31(Def=3)</b> メンテナンスで使用します(スーパーの縦位置補正) ※未対応
CONSOLE	CG H Adj	<b>0~31(Def=4)</b> メンテナンスで使用します(スーパーの横位置補正) ※未対応
CONSOLE	\$PnlMode	<b>Normal</b> MDC-50Tb 標準機能 <b>Mode1</b> パネルモード 1(操作パネル全部を PC に解放) <b>Mode2</b> パネルモード 2(S/J/V と T-Bar は自身で制御) <b>Mode2</b> パネルモード 3(S/J/V と T-Bar と Play,Stop,Stby も自身で制御) DCP シリーズや MVX シリーズ使用時に設定します。 <b>※通常は設定を変えないでください</b>
CONSOLE	InitConfig	<b>NoInit</b> 初期化しません(誤操作防止用) <b>Port1</b> ポート1の RS422 PORT 設定を初期化します <b>Port2</b> ポート2の RS422 PORT 設定を初期化します <b>Port3</b> ポート3の RS422 PORT 設定を初期化します <b>Port4</b> ポート4の RS422 PORT 設定を初期化します <b>System</b> RS422 PORT 設定以外の、メニュー設定を初期化します <b>ALL</b> すべて初期化します Config を初期化します
CONSOLE	#CfgBnkLd	<b>Non</b> バンク呼び出しをしません(誤操作防止用) <b>Bank1/ Bank2/ Bank3 /Bank4 /Bank5 /Bank6 /Bank7 /Bank8</b> メニュー設定を登録したバンクを呼び出します

※RS-422 PORT 設定はポート(PORT1~PORT4)毎に設定可能です。

PORT No スイッチを押して、設定したいポートを選択して、設定を行ってください。

項目メイン	サブ項目	設定
RS-422 PORT	PortName	8文字 (Def="DEV-1~4") ポート名称
RS-422 PORT	PrtclTyp	THR スルー通信 9PIN VTR プロトコル Odetics ODETICS プロトコル(未対応) MAV MAV プロトコル(未対応) VDCP VDCP プロトコル 制御プロトコルを選択します。
RS-422 PORT	PortAtr	Play&Rec 再生制御 も 記録制御も 行うポート Play 再生制御 のみ行うポート Rec 記録制御 のみ行うポート 制御ポートの属性を選択します。 Port1(Rec)/Port2(Play)/Port3(PLAY&Rec)/Port4(Play&Rec)
RS-422 PORT	LouSgPtRec	"-99~0~99" (Def=0) VDCP の REC 系信号ポート ID の指定します。 Port1(-1)/Port2(0)/Port3(0)/Port4(0)
RS-422 PORT	LouSgPtPly	"-99~0~99" (Def=0) LOUTH の PLAY 系信号ポート ID の指定します。 Port1(0)/Port2(2)/Port3(0)/Port4(0)
RS-422 PORT	LouCupCmd	Cwd1 "CueWinthData" コマンドを使用して Load する. 常時 Load を行う. Cwd2 "CueWinthData" コマンドを使用して Load する. Load 済みの場合は Jog による Cueup だけ行う. Plyc1 "PlayCue" コマンドを使用して Load する. 常時 Load を行う. Plyc2 "PlayCue" コマンドを使用して Load する. Load 済みの場合は Jog による Cueup だけ行う. 本機内部の CUEUP 処理で使用されるパラメータです。 ※通常は設定を変えないでください
RS-422 PORT	LouFnmSns	Normal ファイル名 8 文字までのセンス Ext ファイル名 8 文字超も対応のセンス (~31 文字まで) 本機内部のファイル名センス処理で使用されるパラメータです。 ※通常は設定を変えないでください
RS-422 PORT	LouTcSnCt	Norma TC センスは 常時 1 種類 (FTC 相当 or LTC 相当) Dual TC センスは 常時 2 種類 (FTC 相当 and LTC 相当) VDCP 機器に対してセンスする TC 種別数を設定します。
RS-422 PORT	LouSpdStMd	StillCmd STILL コマンドを使用. VarZero VAR スピード 0 コマンドを使用. LOUTH の ダイヤル制御において静止時にどのコマンドを使用するかの設定
RS-422 PORT	LouRecOpWt	"0~999 frame" : 0~999 ( Def=300 ) VDCP での REC 時, デバイスからの REC ファイルオープンステータスの監視タイムアウト値。 ※AirSpeed 対応関連項目
RS-422 PORT	LouRecStWt	"0~999 frame" : 0~999 ( Def=300 ) VDCP での REC 時, デバイスからの REC 開始ステータスの監視タイムアウト値。 ※AirSpeed 対応関連項目
RS-422 PORT	FrameType	NTSC-DF ドロップフレーム制御 NTSC-NDF ノンドロップフレーム制御 PAL PAL 制御 ・ドロップ・ノンドロップフレーム制御を設定します ・"SYSTEM > \$SysFrmTyp" を PAL に切り替えると、連動して PAL 設定固定になります
RS-422 PORT	DF-Mode	Device VTR のステータスにより、DF/NDF を切り替えます。 Fix FrameType で設定した DF/NDF で制御を行いません
RS-422 PORT	StbyOffTimer	DISABLE 機能しない(VTR 設定で動作) 30sec / 60sec / 03min / 05min / 08min / 15min / 30min スタンバイ OFF タイマー設定 (STANDBY ON 操作時に送信)
RS-422 PORT	StbyOnMod	Normal Standby On コマンドのみ送信 OffTmrReset Standby Off Timer の Reset コマンド も送信 (SONY 機器向け) STBY ボタン (ON 時) の時指定

RS-422 PORT	StopCmdSel	<b>STOP</b> ストップ <b>Var-Still</b> バリアブル・スティル <b>Jog-Still</b> ジョグ・スティル <b>Shtl-Still</b> シャトル・スティル STOP ボタンを押したときに使用するコマンドの設定です
RS-422 PORT	StepCmdTyp	<b>Normal</b> <b>Doremi</b> ・Step コマンドの選択現在の所、ドレミのみ対応 ・通常は Normal で使用してください
RS-422 PORT	ShtlMaxTyp	×4/×8/×16/×32/×50/×60/×100/×200/MAX <b>FF/FR</b> SHTL 最大スピードの設定です
RS-422 PORT	T-BarMaxType	×4/×8/×16/×32/×50/×60/×100/×200/MAX <b>FF/FR</b> T-Bar 最大スピードの設定です
RS-422 PORT	CueupCmdTyp	<b>Normal</b> <b>Doremi</b> Cueup コマンドの選択ドレミ使用時のみ設定を”Doremi”にしてください
RS-422 PORT	CueupTcType	<b>TC</b> パネルの TC 選択ボタン=TC 時のみ CUE 等の登録が 可となる <b>CTL</b> パネルの TC 選択ボタン=CTL 時のみ CUE 等の登録が 可となる <b>Auto</b> パネルの TC 選択ボタン=TC/CT 時どちらでも CUE 等の登録が 可となる <b>Disable</b> “TimerModeSelect”コマンドを受付けない VTR など。 パネルの TC 選択ボタン=TC/CTL 時 どちらでも CUE 等の登録が 可となってしまうが、Cue up 時の TC 種別は制御しないのでその動作は操作者依存 CUE 等の登録 TC 種別の指定 (Cueup コマンド送信時の “TimerModeSelect” コマンド(VTR コマンド)の送信指定)
RS-422 PORT	RecTcSchDly	“0~999” ( Def = 300 ) 収録直後の映像に対する CUE UP 操作に DELAY をかけます
RS-422 PORT	ReqStsLen	“0~15” ( Def = 6 ) ステータスリクエストのデータ長を設定します
RS-422 PORT	VstsAdjMod	<b>Disable</b> 補正無し <b>NrecMask</b> REC ステータスをマスク 機器からの応答ステータスに補正をかける指定です。
RS-422 PORT	ReqTcMode	<b>AUTO</b> VTR 設定に依存します <b>LTC</b> LTC を表示します <b>VITC</b> VITC を表示します <b>FTC</b> FTC を表示します(ディスク等のみ) 表示切替えスイッチ部の TC を選んだときの表示するタイムコード(TC センスの種類)を選択
RS-422 PORT	ReqTcMode2	<b>Non</b> 2 つ目の TC/UB センスは行わない <b>AUTO</b> VTR 設定に依存します <b>LTC</b> LTC のみセンスします <b>VITC</b> VITC のみセンスします <b>CTL</b> CTL のみセンスします <b>FTC</b> FTC のみセンスします <b>LTC-UB</b> LTC-UB のみセンスします <b>VITC-UB</b> VITC-UB のみセンスします 2 つ目の TC/UB センスが必要な時に設定 ・PC と接続したシステム等において、状況に応じて選択 ・通常はデフォルトのまままでご使用下さい
RS-422 PORT	ReqTCTmg1	“0~16” ( Def=0 ) 1 つ目の TC センスタイミングを指定 ・通常はデフォルトのまままでご使用下さい
RS-422 PORT	ReqTCTmg2	“0~16” ( Def=0 ) 2 つ目の TC センスタイミングを指定 ・通常はデフォルトのまままでご使用下さい

RS-422 PORT	UbitSnsEna	<b>Disable</b> 機能させない <b>Enable</b> 機能させる TC 切替えの U-Bit センスを許可するか、しないか
RS-422 PORT	SpeedSns	<b>Disable</b> <b>VtrSns</b> PC と接続したシステムにおいて、状況に応じて設定 通常はデフォルトのままでご使用下さい
RS-422 PORT	DevTypMod	<b>Normal</b> 周期的にセンスします <b>Fix</b> センスしません <b>Once</b> 通信開始時のみセンスします 機器に対するデバイスタイプリクエスト送信動作の選択
RS-422 PORT	PbEeMod	<b>Disable</b> 何もしない <b>PlayPB</b> PLAY 系コマンド送信の際 FullEE-OFF コマンドも送信します <b>PlayPB2</b> 同上、ただし STOP コマンドの際は 送信しない PlayPB または PlayPB2 にしておくと、PLAY 系コマンド送信時に明示的に EE から PB 状態に切り替えます
RS-422 PORT	PbEeDly	<b>"0~150" (Def=0)</b> PLAY 系コマンド送信後の、FullEE-OFF コマンド送信を何フレーム遅らすかの設定
RS-422 PORT	FnamSnsTyp	<b>Normal</b> <b>Doremi</b> ドレミを使用する場合に設定します <b>AMP</b> K2/VIDEOS を使用する場合に設定します <b>Sdsk</b> SonyDisk コマンドを使用する場合に設定します Disk 機器向けの ファイルセンスコマンド の選択
RS-422 PORT	SdskRecDur	<b>"00:00:00:00~23:59:59:29" (Def=00:00:00:00)</b> ※ALL0 でデバイス依存 Disk 機器向けの 記録ファイルサイズ の指定 ("PrtclTyp"= "MAV/VDPC" の場合のみ 有効)
RS-422 PORT	SdskLoopRec	<b>ON</b> <b>OFF</b> Disk 機器などの LOOP 記録設定 ("PrtclTyp"="MAV" の場合のみ 有効) ※VDPC は現在未対応
RS-422 PORT	CplyMinDur	<b>"0~999 frame" : 0~999 (Def=30)</b> 連続再生用 IN/OUT の最小デューレーション指定。 ※制御対象機器に合わせて調整して下さい。
RS-422 PORT	CplyFsPlTm	<b>"0~999 frame" : 0~999 (Def=5)</b> 連続再生制御用の Play コマンド送信タイミングを指定します。 ※制御対象機器に合わせて調整して下さい。
RS-422 PORT	CplyPlyTmg	<b>"0~999 frame" : 0~999 (Def=5)</b> 連続再生制御用の Play コマンド送信タイミングを指定します。 ※制御対象機器に合わせて調整して下さい。
RS-422 PORT	CplyStpTmg	<b>"0~999 frame" : 0~999 (Def=3)</b> 連続再生制御用の Stop コマンド送信タイミングを指定します。 ※制御対象機器に合わせて調整して下さい。
RS-422 PORT	CplyPlyAft	<b>"0~999 frame" : 0~999 (Def=5)</b> 連続再生制御時の乗り移り直後の TC 安定待ちパラメータ。 ※制御対象機器に合わせて調整して下さい。
RS-422 PORT	CplyCupTmg	<b>"0~999 frame" : 0~999 (Def=5)</b> 連続再生制御時の次イベント情報(CUEUP 等)の送信タイミングを指定します。 ※制御対象機器に合わせて調整して下さい。
RS-422 PORT	CplyRspTc	<b>0-Start</b> <b>X-Start</b> 連続再生制御時の VDPC 機器からの TC アンサーの取り扱い指定
RS-422 PORT	RecEnable	<b>Disable</b> REC を機能させない <b>Enable</b> REC を機能させる REC 動作を禁止するか選択します
RS-422 PORT	LtcGenTcMod	<b>Disable</b> <b>Device</b> <b>LtcReGen</b> 簡易編集用 通常 "Disable" で使用して下さい。



RS-422 PORT	LtcGenUbMod	<b>Disable</b> Device LtcReGen 簡易編集用 通常”Disable”で使用して下さい。
RS-422 PORT	RecLtcSel	<b>Disable</b> Device IntrLtc 簡易編集用 通常”Disable”で使用して下さい。
RS-422 PORT	EdtPrsStsLen	”0～7” (Def=0) ”EDIT PRESET SENSE” コマンドのセンス長さ指定 ・機器側の EDITトラック設定状態のセンス長の指定 ※ASM,V,A1,A2,DA1～8 まで(一般的な VTR) なら 設定値は2 ※現在の所, MAV の場合は 0(センス停止)とする. (MAV 依存)
RS-422 PORT	EditInOfst	”0～30 frame” (Def=5) EDIT-IN コマンドの送信タイミング指定 ・ほとんどの VTR は 5～10 位
RS-422 PORT	EditOutOfst	”0～30 frame” (Def=5) EDIT-OUT コマンドの送信タイミング指定 ・ほとんどの VTR は 5～10 位 で ”EditInOfst” と同値の場合が多い
RS-422 PORT	EdtOffCmdSel	<b>Edit-Off</b> Edit 終了に Edit-Off コマンドを使う <b>Play</b> Edit 終了に Play コマンドを使う EDIT-OUT 時の使用コマンド選択 (機器によっては,EDIT-OUT 出来るコマンドに制限があるのでその対策用)
RS-422 PORT	StopTmg	”0～99 frame” (Def=5) Stop コマンド送信タイミング パラメータ Cue Mode 3 での Out 点停止位置調整用
RS-422 PORT	StillTmg	”0～99 frame” (Def=5) Still コマンド送信タイミング パラメータ ここで言う”Still”コマンドとは, Jog/Shtl/Var のスピード値を0にしたコマンド Cue Mode 3 での Out 点停止位置調整用
RS-422 PORT	SycStartDly	”0～999 frame” (Def=5) 簡易編集機能での 調相制御パラメータ ・PLAY 送信のタイミングを調整するものであり,最適値にすると, 開始後 速やかに 調相完了となります ・デフォルト値を中心に,調相開始後 速やかに調相完了となる値に 調整する. (約 3～10 の間)
RS-422 PORT	SycGradeFrm	”0～99 frame” (Def=0) 簡易編集機能での 調相制御パラメータ. ・調相完了判定用の調相精度の設定. ・特に旧式の機器でない限り0を指定
RS-422 PORT	PraRecDly	”0～999 frame”(Def=0) Para Rec 時の Rec 送信に Delay をかけます 通常はデフォルトでご使用下さい
RS-422 PORT	SycPrm-1	”SPED=00～FF WAIT=00～FF” 簡易編集機能での 調相制御パラメータ
RS-422 PORT	SycPrm-2	”SPED=00～FF WAIT=00～FF” 簡易編集機能での 調相制御パラメータ
RS-422 PORT	SycPrm-3	”SPED=00～FF WAIT=00～FF” 簡易編集機能での 調相制御パラメータ
RS-422 PORT	SycPrm-4	”SPED=00～FF WAIT=00～FF” 簡易編集機能での 調相制御パラメータ
RS-422 PORT	SycPrm-8	”SPED=00～FF WAIT=00～FF” 簡易編集機能での 調相制御パラメータ
RS-422 PORT	SycPrm+1	”SPED=00～FF WAIT=00～FF” 簡易編集機能での 調相制御パラメータ
RS-422 PORT	SycPrm+2	”SPED=00～FF WAIT=00～FF” 簡易編集機能での 調相制御パラメータ
RS-422 PORT	SycPrm+3	”SPED=00～FF WAIT=00～FF” 簡易編集機能での 調相制御パラメータ

RS-422 PORT	SycPrm+4	"SPED=00~FF WAIT=00~FF" 簡易編集機能での 調相制御パラメータ
RS-422 PORT	SycPrm+8	"SPED=00~FF WAIT=00~FF" 簡易編集機能での 調相制御パラメータ
RS-422 PORT	SioBaudRate	"4800~115200" (Def=38400) SIO のボーレート選択
RS-422 PORT	SioDataBit	7bit 8bit SIO のデータビット選択
RS-422 PORT	SioParity	pn po pe SIO のパリティビット選択
RS-422 PORT	SioStopBit	1bit 2bit SIO のストップビット選択
RS-422 PORT	SioPinAsn	RemOut RemInp SIO の Tx/Rx ピンアサイン
RS-422 PORT	SioFrmTout	"0~999" (Def=5) SIO のフレーム通信タイムアウト ・通常はデフォルトのままをご使用下さい
RS-422 PORT	SioChrTout	"0~999" (Def=15) SIO の受信キャラクター間タイムアウト ・通常はデフォルトのままをご使用下さい
RS-422 PORT	OptCmdBmp	"00h~FFh" (Def=01h) 通信コマンドのオプション指定
RS-422 PORT	SioSysPrmA	Thr Mcr PC と接続したシステムにおいて、状況に応じて設定 通常はデフォルトのままをご使用下さい
RS-422 PORT	SioSysPrmB	"0~4" : 0~4 (Def=0) 通常はデフォルトのままをご使用下さい

項目メイン	サブ項目	設定
GPI	InpMode	<b>Disable</b> GPI入力禁止 <b>Thr</b> PCなど上位に対してスルーで通知 <b>CfgAsn</b> 下記コンフィグ設定("InpLw/InpHi")に従い内部で処 (PLAY-CSTOP-C他) <b>Opt</b> 特注仕様用設定(通常は使用しません) GPI入力の基本動作設定
GPI	InpLw	<b>Disable</b> IN0-3のGPI入力を禁止します <b>OA-C</b> IN0-3がAllポートOA INHI設定されます <b>STOP-C</b> IN0-3がAllポートSTOP設定されます <b>PLAY-C</b> IN0-3がAllポートPLAY設定されます <b>REC-C</b> IN0-3がAllポートREC設定されます <b>CUE-C</b> IN0-3がAllポートCUE設定されます <b>SEARCH-C</b> IN0-3がAllポートSEARCH設定されます <b>STANDBY-C</b> IN0-3がAllポートST-BY設定されます <b>REMA1-C</b> IN0-3がポート1にA割り当て設定されます <b>REMA2-C</b> IN0-3がポート2にA割り当て設定されます <b>REMA3-C</b> IN0-3がポート3にA割り当て設定されます <b>REMA4-C</b> IN0-3がポート4にA割り当て設定されます <b>REMB1-C</b> IN0-3がポート1にB割り当て設定されます <b>REMB2-C</b> IN0-3がポート2にB割り当て設定されます <b>REMB3-C</b> IN0-3がポート3にB割り当て設定されます <b>REMB4-C</b> IN0-3がポート4にB割り当て設定されます GPI入力 下位4bit の用途 指定
GPI	InpHi	<b>Disable</b> IN4-7のGPI入力を禁止します <b>OA-C</b> IN4-7がAllポートOA INHI設定されます <b>STOP-C</b> IN4-7がAllポートSTOP設定されます <b>PLAY-C</b> IN4-7がAllポートPLAY設定されます <b>REC-C</b> IN4-7がAllポートREC設定されます <b>CUE-C</b> IN4-7がAllポートCUE設定されます <b>SEARCH-C</b> IN4-7がAllポートSEARCH設定されます <b>STANDBY-C</b> IN4-7がAllポートST-BY設定されます <b>REMA1-C</b> IN4-7がポート1にA割り当て設定されます <b>REMA2-C</b> IN4-7がポート2にA割り当て設定されます <b>REMA3-C</b> IN4-7がポート3にA割り当て設定されます <b>REMA4-C</b> IN4-7がポート4にA割り当て設定されます <b>REMB1-C</b> IN4-7がポート1にB割り当て設定されます <b>REMB2-C</b> IN4-7がポート2にB割り当て設定されます <b>REMB3-C</b> IN4-7がポート3にB割り当て設定されます <b>REMB4-C</b> IN4-7がポート4にB割り当て設定されます GPI入力 上位4bit の用途 指定

GPI	OutMod	<b>Disable</b> GPI 入力禁止 <b>Thr</b> PC など上位に対してスルーで通知 <b>CfgAsn</b> 下記コンフィグ設定("InpLw/InpHi")に従い内部で処理 (PLAY-C や STOP-C 他) <b>Opt</b> 特注仕様用設定 (通常は使用しません) <b>Test</b> IN→OUT スルーテストモード GPI 出力の基本動作設定
GPI	OutLw	<b>Disable</b> OA-S STOP-S PLAY-S REC-S SEARCH-S STANDBY-S REMA1-S REMA2-S REMA3-S REMA4-S REMB1-S REMB2-S REMB3-S REMB4-S LevelL LevelH EventL EventH GPI 出力下位 4bit の用途 指定です。
GPI	OutHi	<b>Disable</b> OA-S STOP-S PLAY-S REC-S SEARCH-S STANDBY-S REMA1-S REMA2-S REMA3-S REMA4-S REMB1-S REMB2-S REMB3-S REMB4-S LevelL LevelH EventL EventH GPI 出力上位 4bit の用途 指定

項目メイン	サブ項目	設定
LAN/LINK	IpAdrs	"192:168:001:240" (=Def) PC等とLANで接続した場合に必要に応じて設定
LAN/LINK	IpMask	"255:255:255:000" (=Def) PC等とLANで接続した場合に必要に応じて設定
LAN/LINK	\$UnitID	"1ID 2ID 3ID 4ID 5ID 6ID 7ID 8ID" (Def=1ID) MDC50Tb 自局の ID (デフォルトのままで使用してください)
LAN/LINK	LanRspMod	<b>Disable</b> 通知しない <b>RtStEna</b> 周期ステータスのみ通知 (TimeCode など) <b>OpStEna</b> 操作イベントのみ通知 (キー操作など) <b>EvOpEna</b> Cue 関係操作イベントのみ通知 <b>AllEna</b> 全て通知 PCとLANで接続した場合のPCへのステータス通知モード PCと接続する場合のみ必要に応じて設定
LAN/LINK	LanRspFmt	<b>ScBus</b> PC側で "MusScBus.dll" の API を利用する場合 <b>Direct</b> PC側で直接 Socket API 等を利用する場合 PCとLANで接続した場合のPCへのステータス通知電文形式 PCと接続する場合のみ必要に応じて設定
LAN/LINK	LanRspOpt	<b>Normal</b> 通常通知 (特に条件無し) <b>Tbar/Dial</b> T-Bar/Dial を操作した時だけ通知 PCとLANで接続した場合のPCへのリアルタイムステータス通知条件の設定です PCと接続する場合のみ必要に応じて設定。
LAN/LINK	LanRspUnt	"0~64" (Def=8) PCとLANで接続した場合のPC側の UnitId. (ステータスの送り先の指定として) PCと接続する場合のみ必要に応じて設定
LAN/LINK	LanRsplnt	"0~99" (Def=20) PCとLANで接続した場合のPC側へのステータス送信周期. (10ms 単位) 0にした場合は、本機内部の他の処理に支障がない範囲で最短周期での送信
LAN/LINK	LanRsplnt2	"0~99" : 0~99 (Def=0) PCとLANで接続した場合のPC側へのステータス送信周期. ("秒"単位) 現在、先述 "LanRspOpt" を "Tbar/Dial" にした時に有効となり、必要に応じて設定する。 Tbar/Dial を操作していない状態でもこの設定で一定周期でリアルタイムステータスを通知するので、MDC のオンライン確認用途等での使用を想定。
LAN/LINK	LanOnlRsPw	<b>Disable</b> 通知しない <b>Enable</b> 通知する (PC側でのMDC起動検知用途等での使用を想定) PCと接続する場合のみ必要に応じて設定
LAN/LINK	LanRtryCt	"0~30" (Def=10) LAN通信での送信リトライ数 現在の所デフォルトのまま (設置先のLAN環境によっては調整の必要有り) PCと接続する場合のみ必要に応じて設定
LAN/LINK	LanRtryIv	"0~30" (Def=3) LAN通信での送信リトライ間隔 現在の所デフォルトのまま (設置先のLAN環境によっては調整の必要有り) PCと接続する場合のみ必要に応じて設定
LAN/LINK	LnkRspMod	<b>Disable</b> 通知しない <b>RtStsEna</b> 周期ステータスのみ通知 (TimeCode など) <b>OpStsEna</b> 操作イベントのみ通知 (キー操作など) <b>EvOpEna</b> Cue 関係操作イベントのみ通知 <b>AllEna</b> 全て通知 PCと1394で接続した場合のPCへのステータス通知モード PCと接続する場合のみ必要に応じて設定
LAN/LINK	LnkRspUnt	"0~64" (Def=8) PCと1394で接続した場合のPC側の UnitId. (ステータスの送り先の指定として) PCと接続する場合のみ必要に応じて設定

LAN/LINK	\$LnkBusSpd	"100 200 400" (Def=400) LINK 通信速度設定. 単位は bps (通常はデフォルトのままで使用してください)
LAN/LINK	\$LnkSchMod	<b>Normal</b> <b>Model</b> 接続先ユニットの探索動作指定
LAN/LINK	\$LnkSchSec	"0~30 sec" (Def=3) 接続先ユニットの探索時間指定 (デフォルトのままで使用してください)
LAN/LINK	\$LnkPtDis	<b>Normal</b> <b>DisPort1</b> <b>DisPort2</b> <b>DisAll</b> LINK ポートのマスク指定 (デフォルトのままで使用してください)
LAN/LINK	LnkSysPrmA	"0~32" (Def=4) メーカー内部パラメータ PC と接続したシステムにおいて,状況に応じて設定 通常はデフォルトのままで使用

項目メイン	サブ項目	設定
SYSTEM	UnitName	"MDC50T" ユニット名称
SYSTEM	VersionInfo	バージョンを表示します
SYSTEM	ExtInfo	"P*,DSK" や "P*,STD" などと表示される MDC50Tb にインストールされているオプション表示 "P*" 使用可能なポート数"P1/P2/P3/P4" "DSK" DISK ソフトがインストールされています "STD" VTR ソフトがインストールされています
SYSTEM	MAC ADR	MAC ADDRESS を表示します
SYSTEM	DIAG-Feder	メンテナンスで使用します
SYSTEM	\$SysFrmTyp	<b>NTSC</b> 本機を NTSC 環境で使用する場合 <b>PAL</b> 本機を PAL 環境で使用する場合 システムフレームタイプの設定です 本項目を切り替えると, "RS422 > FrameType" 設定も連動して強制的に切り替わります なお,既に登録済みの CUE データ(TC 値など)等は,本項目の切替に関係なく, そのまま保持されています
SYSTEM	#CfgBnkSv	<b>Non</b> バンク登録しません(誤操作防止用) <b>Bank1</b> 現在の設定をバンク 1 に登録します <b>Bank2</b> 現在の設定をバンク 2 に登録します <b>Bank3</b> 現在の設定をバンク 3 に登録します <b>Bank4</b> 現在の設定をバンク 4 に登録します <b>Bank5</b> 現在の設定をバンク 5 に登録します <b>Bank6</b> 現在の設定をバンク 6 に登録します <b>Bank7</b> 現在の設定をバンク 7 に登録します <b>Bank8</b> 現在の設定をバンク 8 に登録します メニュー設定をバンクに登録します

項目メイン	サブ項目	設定
EXTENSION-1	P1-RecCplg	“0001” (Def=0001) ポート 1 選択時に REC コマンドを投げるポートを設定します ※P20 ディスク設定方法 (DISK ソフト使用时) 参照
EXTENSION-1	P2-RecCplg	“0010” (Def=0001) ポート 2 選択時に REC コマンドを投げるポートを設定します ※P20 ディスク設定方法 (DISK ソフト使用时) 参照
EXTENSION-1	P3-RecCplg	“0100” (Def=0100) ポート 3 選択時に REC コマンドを投げるポートを設定します ※P20 ディスク設定方法 (DISK ソフト使用时) 参照
EXTENSION-1	P4-RecCplg	“1000” (Def=1000) ポート 4 選択時に REC コマンドを投げるポートを設定します ※P20 ディスク設定方法 (DISK ソフト使用时) 参照
EXTENSION-1	P1-PlayCplg	“0001” (Def=0010) ポート 1 選択時に PLAY コマンドを投げるポートを設定します ※P20 ディスク設定方法 (DISK ソフト使用时) 参照
EXTENSION-1	P2-PlayCplg	“0010” (Def=0010) ポート 2 選択時に PLAY コマンドを投げるポートを設定します ※P20 ディスク設定方法 (DISK ソフト使用时) 参照
EXTENSION-1	P3-PlayCplg	“0100” (Def=0100) ポート 3 選択時に PLAY コマンドを投げるポートを設定します ※P20 ディスク設定方法 (DISK ソフト使用时) 参照
EXTENSION-1	P4-PlayCplg	“1000” (Def=1000) ポート 4 選択時に PLAY コマンドを投げるポートを設定します ※P20 ディスク設定方法 (DISK ソフト使用时) 参照

## エラー表示

エラーが発生した場合は液晶表示部にエラーメッセージが表示されます。

エラー表示	内容
“CUE DATA FULL!”	CUE 登録を行なおうとしたときに、BANK バッファがいっぱいの時に表示されます
“PLEASE CHANGE”, “DISPLAY TC” “PLEASE CHANGE”, “DISPLAY CTL”	CUE, AE 機能呼び出し時に、メニューの制御 TC 選択と表示の TC 種別が異なっている場合、表示 TC の切替えを促すメッセージです

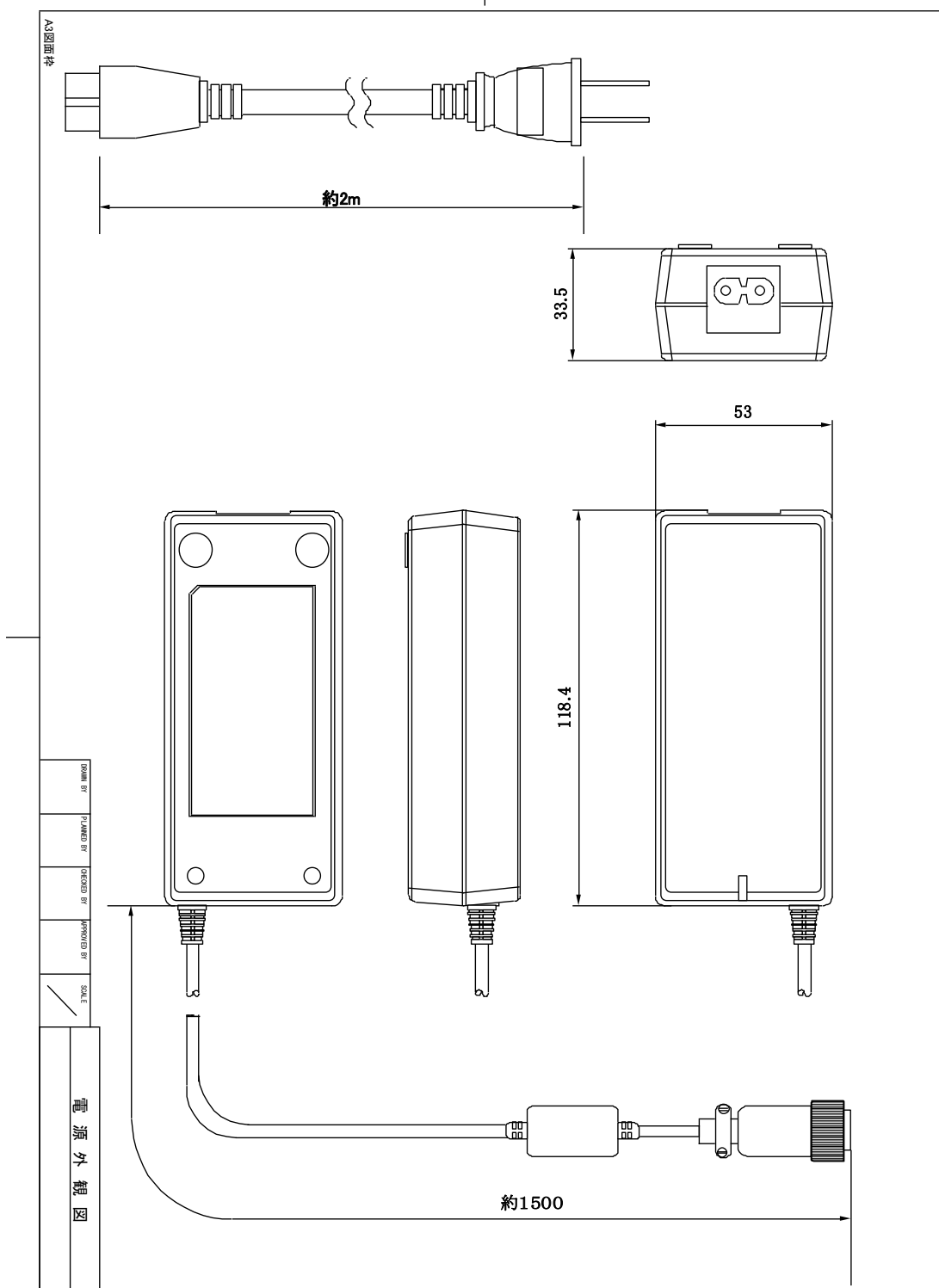
※”SYSTEM ERR~”のエラーが表示された場合は、メーカーまで問い合わせ願います。

## 8. 仕様

項目	仕様
RS-422 (Dsub9PIN)	1 系統 (最大 4 ポート迄増設可能)
GPI (入出力各 8 ビット、Dsub25PIN)	1 系統
LAN (ETHERNET 10/100base RT-45 コネクター)	1 系統 (メンテナンス用)
LINK (IEEE1394)	2 系統 (未使用)
REF (B.B 信号、BNC コネクター、ループスルー)	1 系統
VIDEO IN (BNC コネクター)	未対応
MONITOR OUT (BNC コネクター)	未対応
寸法 (mm)	210(w) x 268(D) x 90 奥 ～約 44 手前(H)
質量	約 3 Kg
消費電力	約 12W
電源 AC アダプター	INPUT 100-240V ～1.1A 50-60Hz







MUSASHI

※仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。  
 ※電源 220V をご使用の場合は弊社営業までご連絡ください。

ご相談・ご質問及び、修理に関しましては、下記までお問い合わせ下さい。

---

## 武蔵株式会社

**TEL 03-5982-4391      FAX 03-5982-4784**

東京都新宿区下落合 3-21-1 NK フジビル 3F 〒161-0033

営業時間 9:00～18:00 月曜～金曜（休祝日を除く）

**E-Mail : [info@musashi-kk.co.jp](mailto:info@musashi-kk.co.jp)**

**URL : <http://www.musashi-kk.co.jp/>**

---